

令和8年度
教 育 要 覧



自ら考えて行動する人を育てる。
学びを通じて町をつくる。

葉山町教育委員会

目 次

I 町の概要

- 1 沿革 1
- 2 町の規模 1
- 3 教育のあゆみ 2

II 教育委員会

- 1 教育長及び教育委員 7
- 2 歴代教育委員長 7
- 3 歴代教育長 8
- 4 歴代町長 8
- 5 社会教育委員及び公民館運営審議会委員 9
- 6 文化財保護委員会委員 9
- 7 スポーツ推進審議会委員 9
- 8 教育委員会会議議決案件 10

III 教育行財政

- 1 教育の基本方針 11
- 2 教育委員会事務局組織と主な業務 18
- 3 一般会計予算と教育予算 19
- 4 主な事業 21

IV 学校教育

- 1 主な事業 26
- 2 葉山小学校の概要 27
- 3 上山口小学校の概要 28
- 4 長柄小学校の概要 29
- 5 一色小学校の概要 30
- 6 葉山中学校の概要 31
- 7 南郷中学校の概要 32

V 生涯学習

- 1 主な事業 33
- 2 葉山町指定・登録文化財一覧 35

VI 教育施設

- 1 保育園・教育総合センター 39
- 2 図書館 42
- 3 葉山しおさい公園 44
- 4 葉山しおさい博物館 45
- 5 南郷上ノ山公園 47

VII 広報

- 広報・刊行物 48

I 町の概要

1 沿革

本町は、三浦半島の西北部に位置し、北は逗子市、東部、南部は横須賀市に接し、西は相模湾に面しています。面積は 17.04 ㎢で東西にやや長く、西半部は、市街化が進んでいます。町内には、森戸川、下山川がともに西にながれ、相模湾に注いでおり、山々は相模湾を環流する黒潮と年間 1000 mm を越す降水により、美しい山ひだと美林におおわれています。

葉山海岸は、森戸海岸、芝崎、一色海岸、小磯、大浜海岸、長者ヶ崎海岸という砂浜と岩礁が交互に連なっている南北4kmにおよぶ美しい海岸線で、平成8年には「日本の渚・百選」に選ばれています。森戸、一色、長者ヶ崎・大浜の3つの海水浴場や葉山港などの港湾設備も整備されていて、海水浴や磯遊び、ヨットやボート、ウインドサーフィンなどのマリンスポーツができる場所として広く親しまれています。明治初期には、日本人が最初に作ったヨットで楽しんだといわれており、日本ヨット発祥の地としても知られています。

本町は、明治 22 年の町村制実施によって木古庭、上山口、下山口、一色、堀内、長柄の村が合併して葉山村となり、大正 14 年に町制を施行しました。明治中期に御用邸が建設されてからは、「保養の町」として歩み、多くの名士の別荘や居家が設けられました。東京から 50 キロメートル圏内に位置しており海に面した保養地・緑豊かな住宅の町として存在しています。町内には鉄道網はなく、葉山町への交通は J R 横須賀線・逗子駅、京浜急行線・逗子・葉山駅からのバス路線です。約 20 系統のバス路線があり、一部は J R 横須賀線・衣笠駅、京浜急行線・汐入駅に連絡しています。東京駅から約 80 分、横浜駅から約 45 分です。



案内図

2 町の規模

(1) 位置 (役場所在地)

北緯 35 度 16 分 19 秒 47 東經 139 度 35 分 10 秒 29

(2) 面積 17.04 km² (東西 6.50 km 南北 4.00 km 海岸線 3.56 km)

(3) 世帯数と人口

(令和8年4月1日現在)

大字 区 分		木古庭	上山口	下山口	一 色	堀 内	長 柄	合計
世 帯 数		635	809	1,262	4,100	3,828	3,954	14,588
人 口	男	617	780	1,334	4,168	3,743	4,073	14,715
	女	656	837	1,431	4,759	4,311	4,616	16,610
人 口 計		1,273	1,617	2,765	8,927	8,054	8,689	31,325

(住民基本台帳調べ)

3 教育のあゆみ

- 明治4年 (1871) 「堀内郷学校」堀内村有志により相福寺本堂で開校
「大学」を廃し「文部省」を置く
- 明治5年 (1872) 「学制」発布
- 明治6年 (1873) 「堀内郷学校」を廃し「堀内学校」を開校
相福寺本堂を仮校舎とし、堀内、長柄、二ヶ村の児童が対象
「山口学校」、新善光寺を仮校舎として開校
木古庭・上山口・下山口・一色の四ヶ村の児童が対象
「太陽暦」採用「学問のすすめ」学校で用いられる
- 明治8年 (1875) 「山口学校」を「第十中学区第八十八番山口学校」と称する
文部省布達により、小学生の学齢を満6年から満14年までと定める
- 明治9年 (1876) 「山口分校」を一色玉蔵院に置く。下山口、一色の二ヶ村児童が対象
- 明治12年 (1879) 「学制」を廃し「教育令」を公布、町村民の選挙で「学務委員制」発足
- 明治13年 (1880) 「堀内学校」相福寺庫裡に移転 長柄村児童は「長柄学校」に分離
「長柄学校」堀内学校より分離、現御霊神社境内に開校、長柄村児童が対象
「改正教育令」公布、義務教育年限が最低3年となる
- 明治14年 (1881) 「第十中学区八十八番山口学校」は新善光寺から西光寺に移転、「山口学校」と称する
「山口分校」は山口学校から分離、玉蔵院から現エコーハイツ地に移り「一色学校」と改称する
- 明治17年 (1884) 葉山の六ヶ村が「組合村」となる
- 明治19年 (1886) 学校令発布、義務教育年限が小学校尋常4年となる
- 明治20年 (1887) マルチーノ公使やベルツ博士の紹介で葉山に別荘が建ち始める
東海道線開通（新橋駅国府津駅間）
- 明治22年 (1889) 大日本帝国憲法発布
葉山の六ヶ村が合併して「葉山村」となる
村立設立のため村会議員が選出される。横須賀線開通（大船駅横須賀駅間）
- 明治23年 (1890) 教育勅語発布。「小学校令」改正、「葉山村役場」竣工（一色 1505）
- 明治24年 (1891) 「一色学校」校舎新築、「尋常第一葉山小学校」と改称する
「堀内学校」を「尋常第二葉山小学校」と改称する
「山口学校」は西光寺より上山口小学校地（上山口 158）へ移転新築して、「尋常第三葉山小学校」と改称する
「長柄学校」を「尋常第四葉山小学校」と改称する
- 明治27年 (1894) 「尋常第一葉山小学校」を「尋常高等第一葉山小学校」と改称する
葉山御用邸落成
- 明治29年 (1896) 「尋常第三葉山小学校」半焼、復旧工事完成
- 明治30年 (1897) 「尋常第二葉山小学校」は相福寺より、現・堀内会館地（堀内 510）
校舎新築し移転
- 明治34年 (1901) 「尋常第二葉山小学校」と「尋常第四葉山小学校」と合併し「尋常第二葉山小学校」と称する
- 明治37年 (1904) 日露戦争勃発
- 明治40年 (1907) 「小学校令」改正、義務教育年限が6年となる
尋常小学校を6年、高等小学校を2～3年となる
- 大正12年 (1923) 「尋常高等第一葉山小学校」を「第一葉山尋常高等小学校」と改称

- 「尋常第二葉山小学校」を「第二葉山尋常小学校」と改称
「尋常第三葉山小学校」を「第三葉山尋常小学校」と改称
関東大震災発生
- 大正 14 年（1925）「第三葉山尋常小学校」廃校、「第一葉山尋常高等小学校分教場」となる
葉山村は町政施行して「葉山町」となる
第二代鈴木三郎助氏が葉山町教育奨励金 5,000 円を寄付
ラジオ放送開始
- 大正 15 年（1926）「第一葉山尋常高等小学校」と「第二葉山尋常高等小学校」を廃校、併合統一して
「葉山尋常高等小学校」を創立
堀内 2050 番地、字戸根山に 6,000 坪の新校地を得て校舎新築
「第一葉山尋常高等小学校分教場」は「葉山尋常高等小学校分教場」となる
大正天皇、葉山御用邸で崩御（ほうぎょ）
昭和天皇、葉山御用邸で踐祚（せんそ）
- 昭和 3 年（1928）第二代鈴木三郎助氏が葉山尋常高等小学校に「講堂」を寄附、落成
昭和 5 年（1930）葉山尋常高等小学校児童文集「みのり」創刊
国道 134 号線開通
- 昭和 9 年（1934）第二代鈴木三郎助氏が葉山尋常高等小学校に「理科特別教室」を寄附、落成
昭和 12 年（1937）日中戦争勃発
昭和 15 年（1940）「光栄の葉山」（葉山郷土の発達史）出版
昭和 16 年（1941）「葉山尋常高等小学校」を「葉山町国民学校」と改称
「葉山尋常高等小学校上山口分教場」を「葉山町国民学校上山口分教場」と改称
国民学校令公布。太平洋戦争勃発
- 昭和 21 年（1946）日本国憲法公布
昭和 22 年（1947）「葉山国民学校」を「葉山町立葉山小学校」と改称
「葉山町国民学校上山口分教場」を「葉山町立葉山小学校上山口分教場」と改称
「葉山町立葉山中学校」開校、新制中学校発足により葉山小学校第 4 校舎裏に設立
教育基本法・学校教育法公布（国民学校令、中学校令、師範教育令、大学令等廃止）
新学制により小学校・中学校発足（6、3、3、4 制）義務教育年限 9 年となる。
- 昭和 23 年（1948）「教育委員会法」公布
昭和 26 年（1951）「葉山町体育協会」発足
昭和 27 年（1952）「葉山町教育委員会」設置、初代教育委員長守屋光春氏
初代教育長に鈴木七藏氏
市町村教育委員会、全国一斉に発足
※「教育委員会」以前の教育行政機構は、
町長→助役→庶務課（学事係・社会教育係）であって、教育は、庶務課の一部であった。
それ以前は「社寺兵事係」の中の「学事」であった
- 昭和 28 年（1953）第二代教育長に角田由五郎氏
「社会教育委員制度」発足、テレビ放送開始
- 昭和 30 年（1955）「葉山町立葉山中学校」校地買収（現・一色小学校地）。4 教室新築
昭和 31 年（1956）「葉山町立葉山小学校上山口分教場」が独立し「葉山町立上山口小学校」と改称し開校
第二代教育委員長に渡瀬正磨氏、第三代教育長に石川茂周氏
教育委員会法を廃し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律を公布
教育委員の公選制から、首長が議会の承認を得て任命する制度となる

昭和 32 年 (1957) 「葉山町立葉山中学校」落成 小学校で給食開始
昭和 34 年 (1959) 葉山小学校に「特殊学級」設置
昭和 35 年 (1960) 横須賀葉山線（県道野比葉山線）完成、バス開通（衣笠駅逗子駅間）
昭和 37 年 (1962) 葉山町に初の交通信号機設置（葉山小学校前）
昭和 38 年 (1963) 第三代教育委員長に高梨勇氏、第四代教育長に一門善記氏
昭和 39 年 (1964) 第五代教育長に梶山政次郎氏
上山口小学校鉄筋コンクリート造 2 階建新校舎落成
新善光寺四脚門など県指定文化財に指定される。
東京オリンピック開催、新幹線開通
昭和 40 年 (1965) 第六代教育長に成井随道氏
葉山小学校と上山口小学校にプール落成
昭和 42 年 (1967) 「葉山町文化財保護委員会」設置、第 1 回葉山町文化祭開催
三ヶ岡山が近郊緑地特別保全地区に指定
昭和 43 年 (1968) 第 1 回葉山町 14 歳立春式挙行
葉山町に初の歩道橋設置（葉山小学校前）
昭和 44 年 (1969) 葉山中学校鉄筋校舎落成（現一色小学校）
第七代教育長に中村高三氏
葉山町と草津町が「姉妹都市」締結
昭和 45 年 (1970) 第四代教育委員長に藤枝謙一氏
「葉山町消防署」落成
「逗葉新道」開通
昭和 46 年 (1971) 葉山御用邸焼失
昭和 48 年 (1973) 第五代教育委員長に池田謙三氏
葉山名誉町民の称号を贈呈「伊藤春義氏、鈴木三郎助（泰助）氏、鈴木三郎助（三郎）」
昭和 49 年 (1974) 第八代教育長に池田三次氏
第三代鈴木三郎助氏の寄附により葉山小学校に「鈴木三郎助記念体育館」落成
昭和 50 年 (1975) 第三代鈴木三郎助氏の寄附により葉山小学校にプール完成
葉山小学校児童急増によるプレハブ校舎増築
詩人堀口大學氏、葉山名誉町民の称号
町制 50 周年記念式典挙行
昭和 51 年 (1976) 「葉山町立長柄小学校」落成開校
昭和 52 年 (1977) 上山口小学校体育館完成、長柄小学校プール完成
昭和 54 年 (1979) 長柄小学校体育館落成、上山口小学校新プール完成、上山口小学校校増築
「葉山町清掃センター」完成
昭和 56 年 (1981) 葉山小学校の特殊学級を「杉の子学級」と命名
「葉山町立南郷中学校」落成開校
「葉山町立図書館」落成開館
葉山御用邸再建
昭和 57 年 (1982) 葉山中学校に特殊学級設置、「山ゆり学級」と命名
南郷中学校体育館落成
昭和 58 年 (1983) 葉山小学校より分離して「葉山町立一色小学校」開校（旧葉山中学校）
葉山中学校新校舎落成移転（字戸根山へ）
葉山小学校プレハブ校舎解体
第六代教育委員長に岩澤勇次氏

葉山中学校体育館落成

昭和 59 年 (1984) 「葉山町役場新庁舎」落成 (一色 2155 番地から堀内 2135 番地へ移転)

昭和 60 年 (1985) 葉山小学校に難聴言語障害児童のための「ことば・きこえの教室」開設
第九代教育長に小峰和夫氏

「南郷上ノ山運動公園」一部開園

昭和 62 年 (1987) 「葉山しおさい博物館」落成開館

一色小学校に特殊学級設置、「ひまわり学級」と命名

昭和 63 年 (1988) 第七代教育委員長に守屋大光氏

「葉山町福祉文化会館」開館

平成元年 (1989) 昭和天皇崩御

平成 2 年 (1990) 奨学金制度・海外留学補助金制度新設
教育研究所準備室開設

平成 4 年 (1992) 葉山中学校・南郷中学校にパソコン教室開設

長柄小学校に特殊学級設置、「おひさま学級」と命名

葉山町適応指導教室開設

平成 5 年 (1993) 第八代教育委員長に大串定典氏

平成 6 年 (1994) 第十代教育長に尾高堯俊氏

第九代教育委員長に水留利治氏

平成 7 年 (1995) 第十代教育委員長に石渡茂成氏

一色小学校新体育館落成

葉山中学校に特殊学級 (肢体不自由) 設置

阪神・淡路大震災

平成 8 年 (1996) 上山口小学校に特殊学級設置、「なのはな学級」と命名

平成 9 年 (1997) 第十一代教育委員長に櫛田礼嗣氏

葉山教育研究所開所

平成 10 年 (1998) 南郷中学校に特殊学級設置、「そよかぜ学級」と命名

平成 11 年 (1999) 県内最大級の前方後円墳 (長柄・桜山第 1・2 号墳) 発見

平成 12 年 (2000) 第十二代教育委員長に矢嶋洋昭氏

長柄小学校屋内運動場耐震補強

平成 13 年 (2001) 第十一代教育長に高木太郎氏

葉山小学校・上山口小学校・長柄小学校・一色小学校にパソコン教室開設

平成 14 年 (2002) 第十三代教育委員長に田中和子氏

完全学校週 5 日制開始

葉山小学校校舎耐震補強

平成 15 年 (2003) 一色小学校校舎耐震補強

平成 16 年 (2004) 第十四代教育委員長に篠原知氏

平成 17 年 (2005) 「葉山町教育総合プラン」答申

平成 18 年 (2006) 第十五代教育委員長に矢嶋洋昭氏

「保育園・教育総合センター」落成 (教育委員会は、堀内 2135 から堀内 2050 番地の 9 へ移転)

上山口小学校校舎耐震補強

図書館に堀口大學文庫を開設

各小中学校の「特殊学級」を「特別支援学級」に改称

平成 19 年 (2007) 第十六代教育委員長に田中和子氏

葉山小学校屋内運動場耐震補強
 平成 20 年（2008）「葉山町教育総合プラン」策定
 第十二代教育長に豊田茂紀氏
 葉山小学校トイレ・屋上改修
 平成 21 年（2009）葉山小学校下水道接続
 長柄小学校校舎耐震補強
 第十七代教育委員長に篠原知氏
 平成 22 年（2010）南郷中学校校舎・屋内運動場耐震補強
 上山口小学校屋内運動場耐震補強
 平成 24 年（2012）一色小学校下水道接続
 第十八代教育委員長に鈴木伸久氏
 平成 25 年（2013）一色小学校新館耐震補強
 平成 26 年（2014）第十三代教育長に返町和久氏
 全小学校空調設備設置
 平成 27 年（2015）全中学校空調設備設置
 上山口・長柄小学校屋内運動場天井等非構造部材耐震化整備
 平成 28 年（2016）上山口小学校グラウンド整備
 長柄小学校急傾斜地崩落対策整備
 一色小学校、葉山中学校屋内運動場天井等非構造部材耐震化整備
 平成 29 年（2017）「第二次葉山町教育総合プラン」策定
 葉山中学校グラウンド整備
 葉山小学校屋内運動場天井等非構造部材耐震化整備
 平成 30 年（2018）南郷中学校屋内運動場非構造部材耐震化整備
 令和元年（2019）教育支援教室「ヤシの実」（旧教育支援センター「ヤシの実教室」）
 移転整備（上山口小学校旧校舎から同校現校舎へ移転に伴い改名）
 令和 2 年（2020）「葉山町学校給食基本方針」策定
 全小学校給食室空調設備設置
 全校情報通信ネットワーク環境施設整備
 GIGA スクール構想タブレット端末配備
 令和 3 年（2021）「第三次葉山町教育総合プラン」策定
 第十四代教育長に稲垣一郎氏
 葉山中学校屋内運動場外装等改修
 第 1 次葉山町スポーツ推進計画策定
 令和 4 年（2022）葉山中学校トイレ改修工事
 南郷中学校屋内運動場屋上防水改修工事
 令和 5 年（2023）中学校給食開始
 葉山小学校、教育総合センター屋上防水工事
 令和 6 年（2024）「南郷中学校区スクールガイド」作成
 国指定史跡長柄桜山古墳群第 1 号墳整備完了
 第 2 次葉山町スポーツ推進計画策定
 令和 7 年（2025）教育総合センター太陽光設備設置工事

Ⅱ 教 育 委 員 会

1 教育長及び教育委員

(令和8年4月1日現在)

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	稲 垣 一 郎	令和6年4月1日～令和9年3月31日
教育長職務代理者	小 峰 み ち 子	令和7年1月1日～令和10年12月31日
委 員	鈴 木 伸 久	令和4年11月1日～令和8年10月31日
委 員	下 位 勇 一	令和5年11月1日～令和9年10月31日
委 員	清 水 衣 里	令和8年4月1日～令和12年3月31日

2 歴代教育委員長

代	氏 名	在 任 期 間
1	守 屋 光 春	昭和27年11月1日～昭和30年4月20日
2	渡 瀬 正 麿	昭和36年10月1日～昭和38年9月30日
3	高 梨 勇	昭和38年10月5日～昭和45年9月30日
4	藤 枝 謙 一	昭和45年10月27日～昭和48年10月19日
5	池 田 謙 三	昭和48年12月27日～昭和58年10月18日
6	岩 澤 勇 次	昭和58年10月27日～昭和63年12月14日
7	守 屋 大 光	昭和63年12月20日～平成4年11月24日
8	大 串 定 典	平成5年3月31日～平成6年3月30日
9	水 留 利 治	平成6年3月31日～平成7年3月30日
10	石 渡 茂 成	平成7年3月31日～平成9年3月30日
11	櫛 田 礼 嗣	平成9年3月31日～平成12年3月31日
12	矢 嶋 洋 昭	平成12年4月1日～平成14年3月31日
13	田 中 和 子	平成14年4月1日～平成16年3月31日
14	篠 原 知	平成16年4月1日～平成18年3月31日
15	矢 嶋 洋 昭	平成18年4月1日～平成19年10月23日
16	田 中 和 子	平成19年12月1日～平成21年11月30日
17	篠 原 知	平成21年12月1日～平成24年11月30日
18	鈴 木 伸 久	平成24年12月1日～平成30年3月31日

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（平成27年4月1日施行）に伴い、教育委員長と教育長を一本化した「新教育長」が設置された。（葉山町では平成30年4月1日より教育委員長職廃止）

3 歴代教育長

代	氏 名	在 任 期 間
1	鈴 木 七 藏	昭和 27 年 11 月 1 日～昭和 28 年 3 月 31 日
2	角 田 由 五 郎	昭和 28 年 3 月 31 日～昭和 31 年 9 月 30 日
3	石 川 茂 周	昭和 31 年 10 月 9 日～昭和 38 年 4 月 17 日
4	一 門 善 記	昭和 38 年 4 月 18 日～昭和 39 年 7 月 2 日
5	梶 山 政 次 郎	昭和 39 年 9 月 8 日～昭和 40 年 7 月 6 日
6	成 井 随 道	昭和 40 年 7 月 8 日～昭和 44 年 10 月 3 日
7	中 村 高 三	昭和 44 年 11 月 14 日～昭和 48 年 11 月 13 日
8	池 田 三 次	昭和 49 年 3 月 8 日～昭和 60 年 5 月 14 日
9	小 峰 和 夫	昭和 60 年 5 月 17 日～平成 6 年 3 月 7 日
10	尾 高 堯 俊	平成 6 年 3 月 8 日～平成 13 年 3 月 31 日
11	高 木 太 郎	平成 13 年 4 月 1 日～平成 20 年 5 月 15 日
12	豊 田 茂 紀	平成 20 年 5 月 16 日～平成 26 年 3 月 7 日
13	返 町 和 久	平成 26 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
14	稲 垣 一 郎	令和 3 年 4 月 1 日～現職

4 歴代町長

代	氏 名	在 任 期 間
1	伊 東 春 義	明治 22 年 5 月 17 日～大正 14 年 5 月 14 日 ※
2	鈴 木 幸 治 郎	大正 14 年 11 月 5 日～昭和 4 年 12 月 16 日
3	小 林 章 司	昭和 5 年 12 月 2 日～昭和 18 年 12 月 7 日
4	川 瀬 源 藏	昭和 18 年 12 月 17 日～昭和 21 年 11 月 7 日
5	亀 井 辰 雄	昭和 22 年 4 月 7 日～昭和 31 年 3 月 3 日
6	守 屋 光 春	昭和 31 年 3 月 26 日～昭和 40 年 1 月 31 日
7	田 中 富	昭和 40 年 2 月 14 日～平成 5 年 2 月 13 日
8	守 屋 大 光	平成 5 年 2 月 14 日～平成 19 年 12 月 23 日
9	森 英 二	平成 20 年 1 月 20 日～平成 24 年 1 月 19 日
10	山 梨 崇 仁	平成 24 年 1 月 20 日～現職

※大正 14 年 1 月町制施行

5 社会教育委員及び公民館運営審議会委員

(任期：令和8年4月1日～令和9年3月31日)

氏 名	備 考
岩 崎 満 樹	学 識 経 験 者
岩 澤 亜 希 子	学 識 経 験 者
佐 々 木 和 子	学 識 経 験 者
杉 田 雅 美	学 識 経 験 者
濱 名 恵 美 子	学校教育関係者（葉山町小中学校長会推薦）
中 世 貴 三	学校教育関係者（葉山町小中学校長会推薦委員経験者）
中 野 徹	学 識 経 験 者
羽 田 志 津 枝	学 識 経 験 者
宮 下 暁 代	家庭教育の向上に資する活動を行う者
山 口 明	学 識 経 験 者

6 文化財保護委員会委員

(任期：令和7年7月1日～令和9年6月30日)

氏 名	備 考
伊 藤 一 美	歴 史
岡 田 修 子	美 術
須 田 英 一	考 古
瀬 谷 貴 之	彫 刻
水 沼 淑 子	建 築

7 スポーツ推進審議会委員

(任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日)

氏 名	備 考
濱 名 恵 美 子	学校教育関係者（葉山町小中学校長会推薦）
鈴 木 志 保 子	学 識 経 験 者
松 崎 健	葉山町スポーツ推進委員連絡協議会
林 俊 司	葉山町スポーツ協会
山 口 明	葉山町社会教育委員

※濱名恵美子氏の任期は、令和7年6月1日から

8 教育委員会会議決案件

令和7年4月～令和8年3月

議案番号	議 案
1	教育施設の工事計画（案）について
2	葉山町立小・中学校使用教科用図書の採択方針について
3	葉山町教育ビジョンの策定について
4	葉山町学校運営協議会委員の委嘱について
5	葉山町いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
6	葉山町社会教育委員及び葉山町公民館運営審議会委員の委嘱について
7	葉山町学校給食運営会議委員の委嘱について
8	教育財産の取得について
9	葉山町スポーツ推進審議会委員の委嘱について
10	葉山町いじめ問題調査会の答申について
11	葉山町学校給食費の管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
12	葉山町文化財保護委員会委員の委嘱について
13	葉山町学校運営協議会委員の委嘱について
14	令和8年度使用小中学校教科用図書の採択について
15	令和7年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第4号））（案）について
16	令和6年度葉山町教育委員会事務点検・評価結果報告書について
17	教育施設の工事計画（案）について
18	令和7年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第6号））（案）について
19	葉山町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について
20	令和8年度使用小中学校教科用図書の採択について
21	葉山町学校給食費の管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
22	令和7年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第7号））（案）について
23	令和7年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第8号））（案）について
24	令和8年度葉山町教育予算（案）について
25	葉山町高校生奨学給付金支給規則の一部を改正する規則について
26	葉山町立図書館条例施行規則の一部改正について
27	葉山町学校施設個別施設計画について
28	学校歯科医の解職について
29	学校歯科医の委嘱について
30	葉山町スポーツ推進委員の委嘱について
31	葉山町教育委員会事務局職員の人事異動について
32	葉山町公立学校教職員の人事異動について

Ⅲ 教 育 行 財 政

1. 教育の基本指針

葉山町教育ビジョン（葉山町教育振興基本計画）

葉山町 Education Mission 2025

1. 学びは社会の変化、葉山のまちづくりとともにある

世界は不確実性の高い、先行きの見通しが難しい「VUCA（ヴーカ）※¹の時代」に。さらに、日本はその中で、社会や経済が縮小する「Shrink（シュリンク）※²の時代」を迎えています。

私たちが経験したことのない、VUCA（ヴーカ）の時代、Shrink（シュリンク）の時代。さらに「AI の時代」。新しい社会を生きる私たちは、これまでの常識が通用しない、正解のない、多くの問いにぶつかることが考えられます。

新しい社会では、「新たな価値を創造する力」「対立やジレンマに対処する力」「責任ある行動をとる力」が求められます。工業社会において重視された集団の「規律」よりも、「自分を知り、突き詰める」ことが生きていくうえでの強みになります。

9年間の教育課程においても、様々な問題を思慮深く考え、それらを解決する力を身につける鍛錬を、意図的・計画的に積むことが求められています。

一方、学びは学習者の人生を豊かにするだけでなく、他者や葉山、国、世界を豊かにする人材を育成します。

また、教育そのものの質と、それを支える学び舎の充実は、葉山のまちづくりにおいても様々な効果を上げることが期待できます。

2. 学びによって夢や目標をみつける力、みつけたときに行動できる力を育む

15歳までに、人生における夢や目標を持つことはできるでしょうか。そもそも、夢や目標を持っている人はどれほどいるのでしょうか。

繰り返される日常に大きな不安や不満もなく、むしろ快適な生活が送れているのであれば、新しいことに挑戦しようとする気持ちは生まれづらいのかもしれません。

でも、「あの頃、もっと勉強しておけばよかった」と後悔する大人は少なくありません。それは、多くの大人が、目標を持つことや、学び直しの必要性を、社会に出てから強く感じているからではないでしょうか。

もちろん、社会人になっても学び直しはできます。でも、学校という学びにとって最高の環境にいる時間は、特別で貴重なものなのです。

だからこそ、葉山の学校では、かけがえのない15歳までの時間でワクワクする“気づき”の最大化を目指します。自分の関心を徹底的に追求するような課題解決型の学びを通して、自分の夢や目標が持ちやすくなる当事者意識を育みます。同時に、自分の思考の特徴を理解するメタ認知能力を高め、夢や目標が持てたあとに役立つ、学習スタイルの獲得を目指します。

※¹ Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）という4つの単語の頭文字をとった言葉で、目まぐるしく変転する予測困難な状況のこと。

※² 「縮小」「減る」「少なること」を意味し、市場や社会が縮小している状況のこと。

3. 進取の気象に富む

「進取の気象に富む」とは、従来の習わしにとらわれることなく、積極的に新しい物事に取り組んでいこうという気質や性格を指します。

学校教育においては、社会の変化とともに、総合的な学習の時間や情報教育など、重点化すべき学びはありますし、教育の基本的なスタンスも、教員による一方的な「指導」から、子どもの自律を促す「支援」へと変化しています。

また、学びは、何より、VUCA（ヴァーカ）の時代、Shrink（シュリンク）の時代、AI の時代を生きる、子ども中心でなければなりません。しかも、子ども中心の学校は、教員もワクワクできる働き方改革を地域と一緒に進めないことには実現できません。

カリキュラムは学習者のためだけでなく、教員が学びあえるようにするためにも、工夫しなければなりません。スクールポリシーに向かっていない、教員にとって過度な負担となっている、そうした取組・行事・会議等については、抜本的に見直し、積極的に新しい手法を取り入れましょう。

また、学びが変わるには、コミュニティ・スクールの利点を最大限に活かしながら、学校、保護者、地域、企業のすべての力を融合させ、「生涯を通じた学び」と「共生」を生み出すことが有効です。関係者の皆さんとともに新しい社会が求める学びを創造しましょう。

【葉山町 Education Mission に基づく6つの施策の方針】

もっと、ワクワクする学びを

■ 探究（考える）と創造（行動する）を往還する学びの推進

- 総合的な学習の時間を核としながら、教科学習においても、児童生徒自らが問いを発見し課題解決していく探究的な学びを促進するため、学校が9年間を見通しながら、組織的・教科横断的なカリキュラムを編成・実施できるよう、手引きやモデルカリキュラム等を作成します。
- 児童生徒が探究的な学びの成果を、同じ学校の仲間や保護者、地域の人々、探究的な学びの協力者等と共有するアウトプットの機会をつくります。

■ 認知能力・非認知能力と、ウェルビーイングの見える化

- 教育に精通する民間企業とともに、教科学習における非認知能力の教育効果測定を研究しながら、非認知能力が認知能力に与える影響についても調査し、認知能力・非認知能力の定点観測を継続することによって、学校の「どのように学ぶか」のあり方検討を支援します。
- 連携協力に関する協定を締結している大学の非認知能力やウェルビーイングに関する国際的な研究と連携しながら、各校で実施している学校評価の方法について検討することで、学校の「何ができるようになるか」のあり方検討を支援します。

■ 新しい教科・科目等への対応

- 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、コミュニケーションの目的を理解し、見通しを持って目的を実現するための聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる総合的な言語活動を行うことを通して、簡単な情報や考えなどを外国語で理解したり表現したり伝え合ったりすることができる資質・能力の育成を目指します。そのために、9年間を見通したカリキュラム編成を支援するとともに、技能教科との連携、外国語による交流機会やイベントの充実を支援・実施します。
- GIGA スクール構想の次のフェーズとなる NEXT GIGA により一人1台端末を更新し、ネットワークを含めた環境を充実させます。また、AIドリル、児童生徒支援のための教職員用ソフト、体育等の場面で映像をもとに協働して課題解決するための ICT ツール、世界中で活躍する大人たちの映像から多様な生き方や価値観に触れることができる ICT プログラムなど、ICT を活用した学びをより活性化させます。
- その他、言語能力の育成、プログラミング教育、理数教育の充実、道德教育、伝統や文化に関する教育、主権者教育など、新しい教科・科目についても、学校が「どのように学ぶか」を研究できるよう支援します。
- 食を通じた「自らの健康について考え、望ましい食生活習慣を選択できる児童生徒の育成」に加え、社会の一員として、エシカル給食を実施し、自然環境・人や社会・地域を思いやり行動することを学ぶきっかけを提供します。

もっと、一人ひとりの学びを

■ DEI を意識した環境づくり

Diversity（多様性）&Equity（公平性）&Inclusion（包括性）

- インクルーシブ教育という言葉すらない、多様な人が自然に共生する社会を目指して、それぞれの子どもの特性や事情等を受け止められる学校内の環境・体制を構築します。
- 特に、令和6年度から全校に設置している「校内教育支援センター」については、環境面と運営面での充実を図り、グラデーションのある校内の居場所をつくります。

■ アセスメントに基づく個に応じた支援策の確立

- 町として支援の進む方向を示し、関係者の目線を合わせ、取り組みを常に見える化させるため、支援教育推進指針を改定するとともに、一人ひとりの特徴や、得意・不得意なこと、関心ごと等を客観的に評価・分析し、児童生徒に対する支援体制の充実を図ります。

- 個別最適な学びの場の保障のため、支援が必要とされる児童生徒の個別の支援計画・指導計画を充実させるとともに、その対象を、通常級における支援が必要な児童生徒へ拡大します。

■ 様々な学びの場との連携と、学びの場につながるきっかけづくり

- フリースクール等、教育支援教室（ヤシの実）、ことば・きこえの教室等との連絡調整会議を開催し、問題や課題、それぞれの居場所の特徴を共有しながら、子どもたちの関心に応じて、複数の居場所が選択しやすくなるよう環境を整えます。特に、町が運営する教育支援教室（ヤシの実）については、体験的な利用が促進されるよう運営や施策のあり方を見直します。
- いずれの学びの場にもつながっていない子どもたちに対しては、問題分析に継続的に取り組みながら、学びの場につながるきっかけを提供するため、体験的なプログラムをイベントとして提供できるしくみを研究・企画し、実践します。

■ 学校教育と、子育て施策との一体的な推進

- 小学校への就学時の不安を少しでも和らげるため、できるだけ早期かつ継続的に小学校での学びや生活を知ることができる機会をつくります。
- 子どもが保育園、幼稚園等から小学校に上がる際、仕事と子育ての両立がより難しくなる社会的な問題、いわゆる「小1の壁」に対し、子育て主管課と連携し、学校内に小学1年生の朝の居場所を検討します。

もっと、生活に学びを

■ 知識や習得した技術が地域内で循環する学習環境づくり

- 各種講座や芸術文化活動を通じ、個人の学びが、まちづくりや学校教育などに活かされるよう、企画の段階から学校、地域住民、大学、企業など、多様な主体と連携し、学びと地域生活の好循環を生み出します。また、学ぶ意欲を高めるきっかけづくりとして生涯学習の履歴を残していく仕組みを検討します。
- 町が直営する青少年育成やスポーツの各種イベントについては、必要性、効率性、有効性、公平性の観点から点検を行い、直営から地域内の団体への委託も視野に入れ、サービスの向上、学びを通じた人と人の交流の促進を図ります。

■ 図書館等の新しい「価値」をつくる

- 自宅や学校、職場でもない、知的で居心地の良いサードプレイスに公立図書館や学校図書館がなるよう、サービス、空間、居場所としてのネットワーク、運営方法などのあり方を検討し、町全体の公共施設のあり方や、新しい学校の整備計画に反映します。
- これまで組織的、専門的な運営が難しかった学校図書館の機能を強化し、子どもたちの探究的な学習、課題解決型の学習の促進を図るため、図書館司書と学校司書の連携、ICTの活用による図書の検索・貸出の連携、レファレンス機能の充実を計画的に進めます。

もっと、通いたい空間を

■ 新しい学校の整備

- 「楽校をつくらう！」の合言葉のもと、以下のコンセプトに基づき、義務教育学校（施設一体型小中一貫校）の整備を目指します。

A まなぶ

1) 自由でボーダレスな空間

- ①主体的・対話的で深い学びを自由に展開できる
- ②個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実できる
- ③ICT環境が整い、多様な学び方を提供できる
- ④学びの変化へ柔軟に対応できる

2) 多様な選択肢が用意されたインクルーシブな空間

- ①多様な子どもたちが共に学ぶことができる
- ②グラデーションのある支援を選択できる

3) つながり最大化する空間

- ①9年間の学びをつなぐ
- ②学校・教員同士をつなぐ
- ③学校と地域をつなぐ



B くらす

1) 子ども・教職員にとって居心地のよい空間

- ①居心地の良い空間、過ごしやすい室内環境
- ②教職員のワークプレイスとして使いやすく、居心地の良いものへ
- ③学び・遊び・運動・休憩などをシームレスにつなぐ
- ④豊かな自然環境を取り込む
- ⑤木を活かした学校づくり

2) 安全・安心に過ごせる空間

- ①日常の事故を防ぐ設えがある
- ②セキュリティが確保された配置計画
- ③ユニバーサルデザイン（バリアフリー、だれでもトイレ等）

3) 子どもの居場所空間

- ①放課後の居場所がある
- ②長期休業中や始業前の朝に居場所がある

C あつまる

1) 地域が共に子どもを育てる空間

- ①地域がいつでも学校に出入りでき、子どもたちに学びを提供できる
- ②地域が学校の運営に参画できる
- ③学校から地域に出て学ぶ機会をつくれる

2) 生涯学習の拠点となる空間

- ①多世代がつながる学びが展開できる
- ②リスクリング（学び直し）の場、学ぶこと・教えることを通して成長できる場
- ③シェアと共有による施設利用

3) まちづくりの核になる空間

- ①学びを通して人と人の交流が生まれる
- ②交流から共創が生まれる

D まもる

1) 地球環境を守る空間

- ①ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の校舎
- ②環境教育の教材となる
- ③新築時に排出されるCO2の削減と校舎の環境性能向上を両立する

2) 維持管理しやすい空間

- ①時代を読み込んだ計画（構造、工法、発注方式、基本性能）
- ②熱源のベストミックス
- ③公共施設マネジメントとしてイニシャルコストとランニングコストの最適化

3) 命を守る空間

- ①防災拠点としての機能の向上

もっと、つながる地域を

■ 学校をまんなかにしたコミュニティの形成

- 「自ら考え行動する人（子）を育てる」というスクールポリシーに即して、学校が運営されているかを見守り、助言、提案する学校運営協議会と、地域学校協働本部を一体的に推進することによって、地域総ぐるみで子どもたちの学びを支えます。
- 地域学校協働本部は、学校とサポーターのコーディネートのほか、地域学校協働活動推進員が在籍し、保護者や地域の人々と学びを通して交流する企画や放課後の子どもの学び場の運営など、自主事業の企画・運営に努めます。
- どの学校でも特定の学校でも、知識や技能を活かしたり隙間時間で応援したり、それぞれにあった方法で学校を応援できるサポーター制度を研究・構築します。

■ 総合型地域スポーツクラブ「うえるま」の自立支援

- 現在、町で実施しているスポーツを中心としたイベントや講座については、総合型地域スポーツクラブ『うえるま』に移管していくことを検討し、地域スポーツ等の活性化を図りながら、クラブの自立・発展を目指します。

■ 学びを支える新しい財源の確保

- ふるさと納税制度を活用したガバメントクラウドファンディング等により、公共では担いきれない学びの領域についても財源の確保を目指します。



もっと、教員のワクワクを

■ 教員が学び合える環境づくり

- 2 中学校 4 小学校のスケールメリットを活かして、校長と教育委員会、校長同士が今日的な教育課題や学校運営について協議をする「楽校改革戦略会議」を開催します。
- 小学校・中学校の校種を越えて、それぞれの教員が同じテーマで合同研究できるよう環境を整え、学びの変革や小中一貫教育を深化させる取組を支援します。
- 日常的に教員同士が学び合えるよう、柔軟なカリキュラムの編成、校務分掌組織の活性化、校務 DXなどを支援します。

■ 専門家や指導主事による伴走の充実

- 探究的な学び・支援教育・外国語教育・ICT 教育といった、これからの葉山の学びの柱となる分野で、指導主事及び教員等がより専門的で実践的な助言が受けられるよう「楽校教育推進アドバイザー」制度の充実を図ります。
- 教員一人ひとりの学びに関する好奇心を原動力に、様々なアイデアを教育施策へ反映したり、学校内や他校への横展開を図ったりするため、実務者で構成する「教育委員会・学校プラットフォーム」を運営します。
- 指導主事及び教員等で、今日的な教育課題に先進的に取り組んでいる地域や学校を視察し、その結果を楽校改革戦略会議や教育委員会への報告する機会を設けることによって、学びの変革を実現する教員の育成を進めます。
- 連携協力に関する協定を締結している大学と教職員の働き方と働きがいとウェルビーイングの観点から測定する方法を検討します。





3. 一般会計予算と教育予算

令和8年度葉山町一般会計の当初予算は128億9,000万円で、このうち教育費の当初予算は13億5,559万7千円で全体の10%を占めています。

(1) 款別予算額比較

(歳入)

(単位：千円)

内 訳	令和8年度		令和7年度		比 較	
	当初予算額	構成比 %	当初予算額	構成比 %	増減額	伸率 %
町税	6,276,745	48.7	6,141,631	46.2	135,114	2.2
地方譲与税	64,301	0.5	63,001	0.5	1,300	2.1
利子割交付金	4,000	0.0	4,000	0.0	0	0.0
配当割交付金	75,000	0.6	55,000	0.4	20,000	36.4
株式等譲渡所得割交付金	80,000	0.6	60,000	0.5	20,000	33.3
法人事業税交付金	53,000	0.4	53,000	0.4	0	0.0
地方消費税交付金	730,000	5.7	700,000	5.3	30,000	4.3
ゴルフ場利用税交付金	20,000	0.2	20,000	0.2	0	0.0
自動車取得税交付金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
環境性能割交付金	17,000	0.1	15,000	0.1	2,000	13.3
地方特例交付金	25,003	0.2	34,000	0.3	△ 8,997	△ 26.5
地方交付税	1,550,000	12.0	1,380,000	10.4	170,000	12.3
交通安全対策特別交付金	4,000	0.0	4,000	0.0	0	0.0
分担金及び負担金	51,996	0.4	50,362	0.4	1,634	3.2
使用料及び手数料	166,677	1.3	176,751	1.3	△ 10,074	△ 5.7
国庫支出金	1,620,516	12.6	1,636,326	12.3	△ 15,810	△ 1.0
県支出金	1,069,629	8.3	979,491	7.4	90,138	9.2
財産収入	29,171	0.2	15,281	0.1	13,890	90.9
寄附金	180,000	1.4	140,000	1.1	40,000	28.6
繰入金	399,411	3.1	601,904	4.5	△ 202,493	△ 33.6
繰越金	200,000	1.6	200,000	1.5	0	0.0
諸収入	126,550	1.0	413,252	3.1	△ 286,702	△ 69.4
町債	147,000	1.1	540,000	4.1	△ 393,000	△ 72.8
合計	12,890,000	100.0	13,283,000	100.0	△ 393,000	△ 3.0

※内訳ごとの構成比合計は、端数整理の関係で100%とならない場合がある。

(歳出)

(単位：千円)

内 訳	令和8年度		令和7年度		比 較	
	当初予算額	構成比 %	当初予算額	構成比 %	増減額	伸率 %
議会費	182,633	1.4	186,937	1.4	△ 4,304	△ 2.3
総務費	1,718,315	13.3	2,118,989	16.0	△ 400,674	△ 18.9
民生費	5,135,417	39.8	5,022,135	37.8	113,282	2.3
衛生費	1,444,376	11.2	1,539,709	11.6	△ 95,333	△ 6.2
農林水産業費	43,591	0.3	46,005	0.3	△ 2,414	△ 5.2
商工費	334,673	2.6	187,422	1.4	147,251	78.6
土木費	1,263,773	9.8	1,291,777	9.7	△ 28,004	△ 2.2
消防費	780,185	6.1	788,810	5.9	△ 8,625	△ 1.1
教育費	1,355,597	10.5	1,457,856	11.0	△ 102,259	△ 7.0
災害復旧費	1,000	0.0	1,000	0.0	0	0.0
公債費	590,440	4.6	602,360	4.5	△ 11,920	△ 2.0
予備費	40,000	0.3	40,000	0.3	0	0.0
合計	12,890,000	100.0	13,283,000	100.0	△ 393,000	△ 3.0

※内訳ごとの構成比合計は、端数整理の関係で100%とならない場合がある。

(2) 性質別予算額比較

(歳入)

(単位：千円)

内 訳 区 分		令和 8 年度		令和 7 年度		比 較	
		当初予算額	構成比 %	当初予算額	構成比 %	増減額	伸率 %
自主財源	町税	6,276,745	48.7	6,141,631	46.2	135,114	2.2
	分担金及び負担金	51,996	0.4	50,362	0.4	1,634	3.2
	使用料及び手数料	166,677	1.3	176,751	1.3	△ 10,074	△ 5.7
	財産収入	29,171	0.2	15,281	0.1	13,890	90.9
	寄附金	180,000	1.4	140,000	1.1	40,000	28.6
	繰入金	399,411	3.1	601,904	4.5	△ 202,493	△ 33.6
	繰越金	200,000	1.6	200,000	1.5	0	0.0
	諸収入	126,550	1.0	413,252	3.1	△ 286,702	△ 69.4
	小 計	7,430,550	57.6	7,739,181	58.3	△ 308,631	△ 4.0
依存財源	地方譲与税	64,301	0.5	63,001	0.5	1,300	2.1
	利子割交付金	4,000	0.0	4,000	0.0	0	0.0
	配当割交付金	75,000	0.6	55,000	0.4	20,000	36.4
	株式等譲渡所得割交付金	80,000	0.6	60,000	0.5	20,000	33.3
	法人事業税交付金	53,000	0.4	53,000	0.4	0	0.0
	地方消費税交付金	730,000	5.7	700,000	5.3	30,000	4.3
	ゴルフ場利用税交付金	20,000	0.2	20,000	0.2	0	0.0
	自動車取得税交付金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
	環境性能割交付金	17,000	0.1	15,000	0.1	2,000	13.3
	地方特例交付金	25,003	0.2	34,000	0.3	△ 8,997	△ 26.5
	地方交付税	1,550,000	12.0	1,380,000	10.4	170,000	12.3
	交通安全対策特別交付金	4,000	0.0	4,000	0.0	0	0.0
	国庫支出金	1,620,516	12.6	1,636,326	12.3	△ 15,810	△ 1.0
	県支出金	1,069,629	8.3	979,491	7.4	90,138	9.2
	町債	147,000	1.1	540,000	4.1	△ 393,000	△ 72.8
	小 計	5,459,450	42.4	5,543,819	41.7	△ 84,369	△ 1.5
合 計		12,890,000	100.0	13,283,000	100.0	△ 393,000	△ 3.0

※内訳ごとの構成比合計は、端数整理の関係で小計欄又は合計欄の数値と一致しない場合がある。

(3) 令和 8 年度教育費予算

(単位：千円)

項	目	項当初予算額	当初予算額	構成比 %
教育総務費	教育委員会費	442, 754	4, 164	0. 3
	事務局費		426, 866	31. 5
	教育振興費		928	0. 1
	教育研究所費		10, 796	0. 8
小 学 校 費	学校管理費	234, 578	174, 010	12. 8
	教育振興費		60, 568	4. 5
中 学 校 費	学校管理費	111, 436	70, 011	5. 2
	教育振興費		41, 425	3. 1
社会教育費	社会教育総務費	171, 029	110, 477	8. 1
	青少年育成費		4, 628	0. 3
	公民館費		292	0. 0
	博物館費		7, 125	0. 5
	図書館費		48, 507	3. 6
保健体育費	保健体育総務費	395, 800	11, 436	0. 8
	体育施設費		422	0. 0
	学校給食費		383, 942	28. 3
合 計			1, 355, 597	100. 0

4 主な事業

(単位：千円)

事業名	内容	事業費
総合教育会議運営事業	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律に基づき、すべての地方公共団体に総合教育会議が設置され、「地方教育行政における責任の明確化」、「迅速な危機管理体制の構築」、「首長との連携の強化」等を目的に町長と教育委員で会議の開催・運営を行う。	73
幼稚園補助事業	町内に設置する私立幼稚園に対し、運営費の一部を補助し、幼児教育全般の振興を図る。	496
教育センター維持管理事業	保育園・教育総合センターの維持管理を行う。	20,907
教育情報ネットワーク管理事業	パソコンや情報通信ネットワークなど学校におけるネットワーク環境を整え、また、学習活動における情報手段を日常的、効果的に活用するために必要な環境を整える。	74,350
コミュニティ・スクール推進事業	コミュニティ・スクールによる学校と地域の協働体制構築のため、学校運営協議会の開催や研修・視察を行う。	658
小中一貫教育推進事業	小中一貫教育推進のため、シンポジウムの開催や先進地の視察を行うとともに、教員の働き方改革を推進する。	1,628
地域連携・体験学習推進事業	地域の教育力を活かしながら、学校行事等を活用して体験学習や地域学習を進める。 ・特色ある学校づくりの推進 ・社会見学等補助金	5,891
町費教職員等配置事業	きめ細やかな学習指導による基礎学力の向上と安定した情緒の下での成長を図るとともに、小中連携により中一ギャップ等の教育課題を解消するため、町立小・中学校に町費教員等を派遣する。また、各小中学校図書室には学校司書を配置する。ICT教育の支援については、ICT支援員が各校を巡回する。	27,089
児童生徒学校生活支援事業	自立や社会参加へ向け、一人ひとりの障害や教育的ニーズに応じた指導や支援を行う。また、学習に困難を抱える児童生徒に対し適切に支援する。	65,205
外国語教育推進事業	ネイティブな英語を児童生徒に伝えるALT(外国語活動指導助手)を各校に適切な時間で派遣する。	10,880
学校教育関係団体等助成事業	各種団体、教職員向け研修会等の負担金・補助金を支出することにより、児童・生徒の健全な指	705

	導・育成に役立てていく。	
学びづくり推進事業	小中学校義務教育9年間を見通した「学び」の工夫、方策に関する研究成果を小中学校で共有し、それに基づく教育を実践する。	892
教育調査研究事業	今日的課題について調査・研究を行うため、神奈川県教育研究所連盟研究発表大会等に参加し、教育実践にかかる調査研究を推進する。	112
教職員専門研修事業	教職員の教科指導力や学級運営力及び教育相談力等、教職員としての資質・専門性を向上させるために「教職専門講座」を開催し、自己研鑽を支援するとともに、教育人材の育成を図る。	270
教育相談事業	不登校・いじめ等学校生活や発達・親子関係等に関する相談窓口として、教育研究所及び教育支援教室に教育相談員を配置する。また、小・中学校にはSCを配置し、児童・生徒へカウンセリングや教職員への指導・助言を行い教育相談の充実を図る。 ・支援教育推進アドバイザー謝礼 ・校内教育支援センター設備の整備	8,324
教育支援教室「ヤシの実」管理事業	不登校児童・生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学習の補充、基本的生活習慣の改善等を柱として、社会的自立を目指すための相談及び指導を行う。	240
小学校運営事業	小学校における教務運営や施設設備の維持管理を行う。	21,940
小学校施設管理事業	学校を適正に管理するため、各種清掃、機器等の保守点検・検査及び修繕等を行う。	99,804
小学校教育振興事業	学習指導要領に基づく学習を進める上で、必要とされる義務教育消耗品等を整備する。 ・教育用消耗品、教師用教科書等の購入 ・ピアノ調律手数料 ・教育器具、教材備品の購入等	18,107
小学校特別支援学級振興事業	インクルーシブ教育の理念に基づく「多様な学びの場」のあり方やユニバーサルデザインを意識した教育環境を整備し、児童一人ひとりの状態に応じた人的、物的支援を図る。	2,214
小学校情報教育推進事業	小学校における情報教育を推進するため、必要な環境を整備する。 ・AIドリル等利用料 ・第2期GIGA端末整備 ・授業目的公衆送信補償金支払	27,632
小学校児童就学援助事業	経済的な理由により就学困難な当該児童の保護	11,656

	者の経済的負担の軽減、教育の機会均等、義務教育の円滑な運営を図る。	
中学校運営事業	中学校における教務運営や施設設備の維持管理を行う。	8,784
中学校施設管理事業	学校を適正に管理するため、各種清掃、機器等の保守点検・検査及び修繕等を行う。	38,790
中学校教育振興事業	学習指導要領に基づく学習を進める上で、必要とされる義務教育消耗品等を整備する。 ・教育用消耗品、教師用教科書等の購入 ・ピアノ調律手数料 ・教育器具、教材備品の購入等	3,107
中学校特別支援学級振興事業	インクルーシブ教育の理念に基づく「多様な学びの場」のあり方やユニバーサルデザインを意識した教育環境を整備し、生徒一人ひとりの状態に応じた人的、物的支援を図る。	965
中学校情報教育推進事業	中学校における情報教育を推進するため、必要な環境を整備する。 ・AIドリル等利用料 ・教育用及び校務用PC等借上料、保守業務等委託料及び回線使用料 ・授業目的公衆送信補償金支払	17,108
中学校生徒就学援助事業	経済的な理由により就学困難な当該生徒の保護者の経済的負担の軽減、教育の機会均等、義務教育の円滑な運営を図る。 ・要保護、準要保護生徒就学奨励費 ・特別支援教育就学奨励費	13,220
生涯学習推進事業	町民の生涯学習機会の充実を図るための事業を実施する。 ・町民大学講座	527
家庭教育支援事業	家庭教育支援のために必要な施策を推進する。 ・家庭教育支援講座 ・葉山町PTA研修会	259
社会人権教育啓発事業	様々な人権問題の解決を図るため、啓発事業を実施する。 ・人権啓発、教育講演会等の開催	48
芸術文化振興事業	町民が豊かな芸術・文化を身近に感じ、積極的に文化創造や継承に取り組むことができる環境づくりを推進する。 ・所蔵美術品の保管及び定期展示を行う。 ・社会教育関係団体が自主的に事業の展開を図れるよう支援を行う。(文化協会、葉山芸術祭実行員会)	1,288

文化財保存活用事業	町の文化財保護及び啓発を図る。 ・文化財保護委員会、文化財講座の開催 ・指定文化財管理奨励金、標柱設置等 ・埋蔵文化財の保護	4,478
地域学校協働活動推進事業	学校と地域が相互に連携・協働し「社会に開かれた教育課程」を推進する。 ・地域学校協働活動の実施 ・放課後子ども教室の実施	3,245
青少年育成事業	青少年の健全育成に向けて、様々な体験活動の場を設け、青少年の地域活動を推進する。 ・ジュニアキャンプ、葉山自然観察隊 さわやか体験学習 ・ジュニアリーダー養成講座 ・逗葉地区青少年音楽祭 ・二十歳のつどい ・海山に育ち親しむ子どもたち（里山管理体験） ・青少年育成団体が自主的に事業の展開を図れるよう支援を行う。（子ども会 11 団体、葉山ジュニアリーダーズクラブ等）	2,501
公民館教室等管理運営事業	町民が学習するきっかけづくりと、相互の親交を深めることを目的に各種講座を開設する。 ・公民館教室（イングリッシュハンドベル、はじめての健康麻雀教室等） ・学校施設・図書館附属施設の開放	291
博物館管理運営事業	博物館維持管理のため、設備の保守点検業務委託を行う。また、博物館を快適に利用してもらうために、清掃業務委託や破損箇所の修繕等を行う。	5,809
図書館管理運営事業	図書館資料の登録、貸出、返却等利用者サービスを主に図書館業務の管理運営の推進に努める。	31,060
スポーツ振興事業	健康で豊かな生活の一助とする町民スポーツの振興並びにスポーツを奨励する。 ・町民体力測定 ・トップアスリートとの交流会 ・スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブの活動支援	5,428
スポーツ推進委員運営事業	住民と行政のパイプ役としてきめ細やかなスポーツ振興を担う。	1,246
マリンスポーツ振興事業	ヨット発祥の地である地域の特性を活かし、マリンスポーツ活動を推進する。 ・ヨットスクールを主催する町セーリング協会に対し補助を行い、自主的な事業展開ができるよう支援する。	3,030

	・マリンスポーツ体験講座（SUP、ウインドサーフィン、HAYAMA 海の学校波乗り体験・ヨット乗船体験）	
スポーツ親善振興事業	姉妹都市草津町とスポーツ交流を通じて親善を図る。 ・草津町民マリンスポーツ体験	968
学校体育施設開放事業	町民にスポーツレクリエーションを普及、振興する。 ・学校体育施設開放	416
南郷上ノ山公園管理事業	都市公園の有料スポーツ施設等の管理運営と環境整備を推進する。	34,705
葉山しおさい公園管理事業	都市公園としての機能を維持し、来園者に心地よい安らぎを提供するため維持管理と整備に努める。 ・発券、受付事務会計年度任用職員雇用 ・植栽管理等業務委託	18,039
学校給食運営事業	・小中学校での安心安全なエシカル給食の提供 ・オーガニック調味料の使用 ・バイオマスストローの提供	192,874
学校給食施設管理事業	給食調理員の雇用、給食設備の維持管理等を行う。 ・会計年度任用職員報酬等 ・清掃業務、保守点検等の業務委託 ・厨房備品等修繕 ・中学校給食調理・配送等業務委託	75,994

IV 学 校 教 育

1 主な事業

学校教育の基本方針に基づき、各種事業を次のとおり展開します。

- (1) 児童・生徒の学校生活の支援
 - ① 特別支援教育支援員の配置
 - ② 日本語指導講師の配置
- (2) 学校安全指導・管理の推進
 - ① 学校保険への加入
 - ② 水泳指導業務委託
 - ③ 部活動指導員の配置
- (3) 学校保健の推進
 - ① 学校保健担当者会
 - ② 逗葉学校保健会
 - ③ 就学時健康診断
- (4) 学校給食の推進
 - ① 食育の推進
 - ② 学校給食の公会計に関すること
- (5) 小中一貫教育の充実
 - ① 楽校改革戦略会議
 - ② 楽校教育推進アドバイザーの委嘱
- (6) 学校経営の充実推進
 - ① 定例校長会議
 - ② 教頭会議
 - ③ 学校防災に関する地域との連携
- (7) 研修の推進
 - ① 文部科学省、県教育委員会が主催する研修会への参加
 - ② 教育講演会
 - ③ 校内研修会
 - ④ 管理職研修会
- (8) 情報教育の推進
 - ① 学校情報機器の整備・維持・管理等
 - ② ICTを活用した教育の推進
 - ③ 教育情報ネットワークの推進
- (9) 学校・家庭・地域の連携の推進
 - ① コミュニティ・スクールの推進
 - ② 「特色ある学校づくり」運営事業
- (10) 国際理解・外国語教育の推進
 - ① 小中学校外国語教育指導助手(A L T)配置
 - ② 外国語教育推進連絡協議会 (A L T含む)
- (11) 人権教育の推進
 - ① 人権教育資料整備
 - ② 人権教育研修会
 - ③ 人権教育担当者会議
- (12) 教育研究の推進
 - 葉山町学びづくり研究推進事業
- (13) 教育研究所事業の推進
 - ① 教育に関する調査・研究
 - ア 教育資料の収集・整理・保存・提供
 - イ 地域教材発刊、製作
 - ② 教育関係職員の研修
 - 教職専門講座
 - 管理職育成研修
 - ③ 「教育相談」
 - 子どもの教育に関する相談
 - ④ 教育支援教室《ヤシの実》の運営
- (14) 児童・生徒指導の推進
 - ① 葉山町いじめ問題対策連絡協議会
 - ② 学校警察連携制度の適切な活用
 - ③ 学校警察連絡協議会
 - ④ 情操教育推進事業助成
 - ⑤ 教育相談関連事業（各種会議、学校支援等）
 - ⑥ 校内教育支援センター相談員の配置
 - ⑦ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの派遣
- (15) 支援教育の推進
 - ① 支援学級担当者会議
 - ② ことば・きこえの教室
 - ③ 発達支援システムの推進
- (16) 就学・進路指導の推進
 - ① 就学相談、進路相談
 - ② 葉山町就学支援委員会
 - ③ 高校生就学給付金
 - ④ 就学援助
- (17) その他
 - 学校関係諸団体への助成

2. 葉山小学校の概要

学校長 濱名 恵美子
 所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内2050番地の1
 電話 046(875)0062
 F A X 046(876)0680
 開校記念日 10月30日
 学校施設面積

校章



単位：㎡

校地	建物敷地	校舎保有面積	運動場	体育館	プール
16,627	8,781	5,154	7,846	757	25m

(1) 児童数 令和8年5月1日現在

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
学級	2	3	3	3	3	3	17
男	29	41	48	50	56	47	271
女	43	34	37	49	50	45	258
計	72	75	85	99	106	92	529

(2) 教職員数

校長	教頭	総括教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	事務職員	業務員	給食調理員	計
1	1	4	33(5)	1	1	1	1	7(5)	52(11)

〈総括〉 ※ () は会計年度任用職員又は再任用職員

(3) スクールポリシー

「自ら学び 考えて行動できる子 ～自立・創造・しなやかな心～」

○ 子どもたちにつけたい力

(自立) ・主体的に学び続ける力 ・粘り強く取り組む力 ・成長しようとする力
 ・気持ちや行動をコントロールする力 ・よく考え決断できる力
 (創造) ・問いを見つける力 ・情報を活用する力 ・考えを発信する力
 ・チャレンジする力 ・みんなの幸福について考える力
 (しなやかな心) ・協働できる力 ・人を大切にする力 ・違いを認め合う力
 ・変化に対応する力 ・情報を見ぬく力

(4) 重点プロジェクト

① しなやかな心：こころプロジェクト

「人も自分も大切にする力」「違いを認め合う力」

- ・係・委員会活動等、児童が主体的に取り組む活動を支援します。
- ・道徳教育・人権教育・包括的性教育等を推進します。
- ・一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を実践します。

② 自律：学びプロジェクト

「主体的に学び、よく考え、行動（決断）する」

- ・児童が主体的に学びに向かうために、校内研究等を通して、授業改善を図り、授業の質的な向上を目指します。
- ・小中9年間の学びの「積み重ね」を意識した、カリキュラムの作成と、教育活動の実践に努めます。

③ 創造：チャレンジプロジェクト

「自分の考えを発信し、チャレンジする力」の育成

- ・自分の考えを持ち、考えたことを様々な手段で発信する機会を広げます。
- ・発信する機会を通して、自らの考えを深め、次なる課題へチャレンジする意欲や自己肯定感の高揚につなげます。

④ 地域との協働プロジェクト

「地域のことを考え、地域を大切にする子ども」の育成

- ・地域のリソースを活用した探究的な学習を推進します。
- ・学校運営協議会を更に活用します。
- ・「放課後子ども教室」を行政、地域、保護者とともに推進します。

3. 上山口小学校の概要

学校長 田中 基
 所在地 神奈川県三浦郡葉山町上山口158番地
 電話 046(878)7529
 F A X 046(878)6550
 開校記念日 4月10日
 学校施設面積

校章



単位：㎡

校地	建物敷地	校舎保有面積	運動場	体育館	プール
19,372	10,749	3,978	8,623	758	アルミ25m

(1) 児童数 令和8年5月1日現在

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
学級	1	1	1	1	1	1	2	8
男	6	10	13	9	13	12	5	68
女	8	8	8	9	11	6	2	52
計	14	18	21	18	24	18	7	120

(2) 教職員数

校長	教頭	総括教諭	教諭	養護教諭	栄養士	事務職員	業務員	給食調理員	計
1	1	3	9(3)	1	1	1	1	0	18(3)

※ () は会計年度任用職員又は再任用職員

(3) スクールポリシー

自ら学び 考えて行動できる子
 ～自立・協働・しなやかな心～

(4) 学校運営方針

① 豊かな心の育成と指導の充実（自立・協働・しなやかな心）

- ・感謝と思いやりの気持ちを大切に、道徳的規範を身に付けた心身ともに健康な児童の育
- ・一人ひとりの児童理解に努め、教師と児童の信頼関係及び児童相互の好ましい人間関係の
- ・民主的な学校・学級運営に努めることにより、全ての児童が互いに認め合う関係づくりをし、

② 学習支援の充実（自立・協働）

- ・「9年間を見通した 育てたい葉山の子ども像」を念頭に、中学校との一貫教育に基づき学習
- ・児童一人ひとりの実態を丁寧に把握し、全ての児童が参加できる授業を目指す。
- ・基礎的基本的な学力の定着を図るとともに、生きるために必要な資質・能力を育む。
- ・異学年との授業や活動を通して、学ぶ力を育てる。
- ・支援方法の工夫・改善を行い職員同士が互いに学び合うことができるよう研修に努める。

③ 保健・安全支援の充実（自立）

- ・校内危機管理体制を充実させ、安全支援を徹底する。
- ・対応から予防へ、具体的で実践的に即した訓練を行う。
- ・「安全と命について考える日」（毎月26日）を設定する。
⇒児童が危険を予測し、適切に行動できる実践力の育成、防災教育の充実を図る。
- ・保護者・関係機関と連携した保健教育の充実努める。

- ・連絡・連携・報告を徹底し、組織的に対応する。

④ 支援教育の充実（自立・協働・しなやかな心）

- ・日頃から児童についての共通理解を図り、継続した適切な対応を図る。
- ・校内支援体制を充実させ、保護者・関係機関と適切な連携を深める。

⑤ 保護者・地域・関係機関と連携（自立・協働）

- ・学校運営協議会の体制を整え、連携を図る。
- ・保護者との信頼関係に基づく教育活動、地域環境を生かした教育活動の展開を図る。

4. 長柄小学校の概要

学校長 長谷川 泰子
 所在地 神奈川県三浦郡葉山町長柄130番地
 電話 046(875)6860
 F A X 046(876)0682
 開校記念日 6月21日
 学校施設面積

校章



単位：m²

校地	建物敷地	校舎保有面積	運動場	体育館	プール
15,025	8,867	5,032	6,158	1,030	25m

(1) 児童数 令和8年5月1日現在

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
学級	2	2	3	3	3	3	8	24
男	32	21	40	42	48	43	31	257
女	34	27	33	36	42	39	14	225
計	66	48	73	78	90	82	45	482

(2) 教職員数

校長	教頭	総括教諭	教諭	養護教諭	栄養士	事務職員	業務員	給食調理員	計
1	1	3	34(5)	1	1	1	1	9(3)	52(8)

※ () は会計年度任用職員

(3) 教育目標

自ら学び考えて行動できる子

- ・ 自律
- ・ 創造
- ・ しなやかな心

(4) 学校経営方針

①進んで学びに向かい、主体的に判断する子の育成

南郷中との連携はさらに深めつつ、中学との連動性系統性のみにとらわれることなく、児童の実態を出発点として、従来の形式のみにとらわれない柔軟な学習のかたちを追及

②対立やジレンマに対処する「しなやかな心」の醸成

課題解決のために対話と協働を重視するとともに、様々な変化に対応し、気持ちや行動をコントロールする「しなやかな心」を育成

③誰一人取り残さない学びの場の追及

誰が安心して学べる学びの場の追及
自分も人も大切に、考えや立場の違い「違いを認め合う力」を育むチーム支援の充実

④地域とともに歩む学校・コミュニティースクールの充実

地域に教育力とともに真安尾をつくるオープンマインド
南郷中学校・葉山小学校と情報共有するとともに葉山町6校が連携した教育

5. 一色小学校の概要

学校長 三好 大介
 所在地 神奈川県三浦郡葉山町一色 1 0 6 0 番地
 電話 046(875)9221
 F A X 046(876)0681
 開校記念日 6 月 1 日
 学校施設面積

校章



単位：㎡

校地	建物敷地	校舎保有面積	運動場	体育館	プール
16,039	8,881	5,312	7,158	1,044	鋼板25m

(1) 児童数 令和8年5月1日現在

学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援学級	計
学級	2	2	3	3	3	3	9	25
男	20	28	35	40	53	44	37	257
女	26	33	32	32	31	45	5	204
計	46	61	67	72	84	89	42	461

(2) 教職員数

校長	教頭	総括教諭	教諭	養護教諭	栄養士	事務職員	業務員	給食調理員	計
1	1	4	31(10)	1	1	1	1	10(8)	51(18)

※ () は会計年度任用職員又は再任用職員

(3) スクールポリシー

「自ら学び 考えて行動できる子～自律・創造・しなやかな心～」

(4) 学校経営方針

通ってよかった・通わせてよかった・勤めてよかった ウェルビーイングの高い学校を目指す

① 児童が生き生きと生活する学校

ア 学校教育目標の実現に向け、全職員で全校児童を育むという共通認識のもと、協働して教育活動にあたる。

イ 学校生活を楽しく豊かなものにするための活動を工夫する。

② 未来を切り拓く力を育む学校

ア 校内研究を推進し、教職員一人ひとりの指導力及び学校全体の指導力の向上に取り組む。

イ 各自が、授業研究・授業改善に努め、その成果を実感できるようにする。

ウ 主体的・対話的で探究的かつ協働的な学びの実現に努める。

③ 児童が安心して過ごせる学校

ア 共に学び共に育つ支援教育の充実を図る。

イ 児童の気持ちに共感的に寄り添い、「いじめ」のない学校を目指す。

ウ 教育相談コーディネーターを中心として、外部機関とも連携を図りながら、より充実した教育相談体制を目指す。

エ 学習環境の整備・充実に努める。

④ 地域とともにある学校

ア 学級経営や授業、情報発信等を通して「信頼」の獲得に努め、信頼を通じた相談しやすい教師・学校を目指す。

イ コミュニティ・スクール運用を見通した地域・保護者との連携体制を推進する。

(5) 校内研究

仲間とともに主体的に学び続ける児童の育成

～類型化した「本時のしかけ」を活用した授業づくりを通して～

6. 葉山中学校の概要

学校長 森岡 孝
 所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内2 2 4 7 番地の2
 電話 046(875)1346
 F A X 046(876)0683
 開校記念日 11月27日
 学校施設面積

校章



単位：m²

校地	建物敷地	校舎保有面積	運動場	体育館	プール
70,639	11,812	6,300	13,542	1,021	25m

(1) 生徒数 令和7年5月1日現在

学年	1 年	2 年	3 年	特別支援学級	計
学級	5	4	4	4	17
男	91	87	75	13	266
女	64	61	72	9	206
計	155	148	147	22	472

(2) 教職員数

校長	教頭	総括教諭	教諭	養護教諭	栄養士	事務職員	業務員	計
1	1	6	20	1	0	2	1	32

(3) 教育目標

『自ら学び 考えて行動できる人』

校訓 『自律・創造・しなやかな心』

- ◎ 自律 … 当事者意識を持ち自ら考え行動に移せる生徒
- ◎ 創造 … 既成概念に捕らわれず解決策を立案し行動に移せる生徒
- ◎ しなやかな心… 物事に屈しない、動じない心 他者と協働できる生徒

① 目指す学校像

- ア 創造性に富みチャレンジする学校
- イ 安全で安心して学べる温かな学校
- ウ 地域に開かれた学校から地域とともにある学校

② 目指す生徒像

- ア 自ら学び、互いに高め合う生徒
- イ 多様性を認め、対立ではなく対話で解決できる生徒
- ウ 礼儀正しく、心身ともに健全な生徒
- エ 当事者意識を持ち自ら考え行動に移せる生徒

③ 目指す教師像

- ア 生徒に寄り添い、生徒の良さや意欲を引き出す教師
- イ 教育に対する情熱と使命感を持ち、常に研鑽に励む教師
- ウ 豊かな人間性と教育愛に満ち、活力ある教師

(4) 学校経営方針

① 基本方針

- ア 確かな学力の向上
- イ 豊かな心と健やかな身体の育成
- ウ 生徒指導・支援の充実
- エ 地域に開かれた学校から地域とともにある学校を目指す

② 重点目標

- ア 学び合い、高め合う教育活動を充実させ、主体的に学び行動する力を育成する
- イ 豊かな心と健やかな身体を育む
- ウ いかなる状況下でも、適切な判断に基づいて行動できる生徒を育成する
- エ 地域との協働による教育力の向上と信頼・期待に応える学校づくりを進める
- オ 小中一貫校開設への具体的な取組の推進

7. 南郷中学校の概要

学校長 加藤 順士
 所在地 神奈川県三浦郡葉山町長柄1 8 3 5 番地
 電話 046(875)9494
 F A X 046(876)0684
 開校記念日 2月10日
 学校施設面積

校章



単位：m²

校地	建物敷地	校舎保有面積	運動場	体育館	プール
22,511	11,589	5,007	10,922	1,104	25m

(1) 生徒数 令和8年5月1日現在

学年	1年	2年	3年	特別支援学級	計
学級	3	3	3	5	14
男	47	61	40	17	165
女	49	47	52	10	158
計	96	108	92	27	323

(2) 教職員数

校長	教頭	総括教諭	教諭	養護教諭	栄養士	事務職員	業務員	計
1	1	4 (内1名養教)	21	1 (総括に含む)	0	1	1	29

(3) 教育目標

自ら学び考えて行動できる人 ～「自律」「創造」「しなやかな心」～

自律：

(責任ある行動をとる力)

①主体的に学び続ける力

②困難や挫折に負けない粘り強い力

③対立しても感情や言動をコントロールする力

④状況に応じて適切な判断を下せる力

⑤自分を見つめ、良い方向へ変えていく力

創造：

(新たな価値を創造する力)

①問題点や課題点を発見することができる力

②知識・情報・技術を活用し解決策を生み出す力

③情報を適切に発信できる力

④新しいことにチャレンジしていける力

⑤地域や地球全体の幸福について考える力

しなやかな心：

(対立ジレンマを克服する力)

①自分も人も大切にし、協働できる力

②人を思いやり、共に生きることができる力

③考えや立場の違いを理解し、尊重できる力

④状況を見つめ変化に対応していける力

⑤情報の真偽を吟味できる力

(4) 学校経営方針

①新しい時代に必要な資質・能力を育む9年間

・各教科を横断的に学ぶ総合的な学習の時間を中心とした9年間を貫く教育課程の編成

・展開する授業において、「学び合い」や探究的な学習を積極的に推進

・国際意識とより実践的な会話力の素地を養う外国語教育の充実

・主体的な態度を育む生徒会・児童会の連携

②誰もが大切にされる、信頼でつながった学校

・自分も人も大切にする気持ちの育成

・相談しやすい教師・学校を目指す姿勢の明確化

・インクルーシブ教育の充実

・子どもの多様性に対応するリソースルームの運営

③地域を愛し、地域から愛されるコミュニティ・スクール運営

・保護者・地域との連携を図り、家庭・地域の教育力を活かした教育活動の展開

・学校だよりやHPの活用を通じた、保護者・地域への発信

・学校運営協議会の円滑な運営

・地域と一体となった学校安全（交通安全・生活安全・防犯・防災）への取組

V 生涯学習

1 主な事業

生涯学習では、次の各種事業を展開しています。

(1) 生涯学習の振興

① 学習機会の充実

ア ニーズに即した学習機会の提供

- ・ 公民館教室の開催（全 11 講座）

イ 地域課題や現代的課題の解決に繋がる学習機会の充実

- ・ 町民大学講座
- ・ 家庭教育支援講座
- ・ 人権啓発

ウ 生涯学習指導者・団体情報の登録・提供

- ・ はやま地域活動ガイドブック登録の推進・情報の発信

エ PTA 活動の支援

② 生涯学習活動の場の提供

学校施設・図書館附属施設の開放

- ・ 一色小学校新館、葉山小学校第 2 音楽室、
町立図書館附属施設の活用
- 地域学校協働活動の推進
- 放課後子ども教室の実施

③ 生涯学習環境の再構築

社会教育委員会議

(2) 青少年の育成

① 青少年の体験・交流機会の提供

ア 体験・交流機会の提供

イ 青少年の自主的な活動支援

- ・ ジュニアリーダー養成講座の開催

② 青少年関係団体との連携強化

(3) 生涯スポーツ活動の推進

① 生涯スポーツ活動の機会の充実

ア 総合型地域スポーツクラブの自立支援及びクラブマネージャー設置支援

イ 運動・スポーツをはじめる機会の提供

- ・ 町民体力測定

ウ 競技スポーツの参加機会提供

- ・ スポーツ協会加盟協会主催の町民大会等の開催支援

② 生涯スポーツ活動のための環境づくりの推進

ア トップアスリートとの交流機会の創出

- ・ 葉山町出身のトップアスリートによる体験講座の開催

イ 学校体育施設（体育館・校庭）の開放



親子で楽しむ料理教室



ジュニアリーダー養成講座



ジュニアキャンプ



町民体力測定

ウ 地域の特性を活かしたスポーツの普及

- ・ マリンスポーツの体験講座の実施

エ スポーツを通じた姉妹都市交流の推進

- ・ 草津町民マリンスポーツ体験、葉山町民スキー教室の実施

③ 生涯スポーツ活動の推進体制の再構築

ア 横断的な生涯スポーツ推進体制の構築

- ・ スポーツ推進審議会

イ スポーツ推進委員

ウ 地域スポーツ関係団体への支援

- ・ 葉山町スポーツ協会の運営助成

(4) 芸術・文化活動の振興と文化財の保護・活用

① 芸術・文化にふれる機会の提供

ア 町民の自主的な芸術・文化活動支援

- ・ 葉山町文化協会、葉山芸術祭実行委員会の運営助成

イ 所蔵美術品の保管管理

② 文化財の保護・活用

ア 町内文化財の保護

- ・ 文化財保護委員会

- ・ 指定文化財の保護と活用

指定文化財保存管理奨励金交付、町指定文化財標柱の設置

- ・ 文化財保護の啓発文化財講座

- ・ 埋蔵文化財の保護

イ 国指定史跡長柄桜山古墳群の保存と活用

- ・ 指定地の維持管理



ウインドサーフィン体験講座



葉山町文化協会・文化祭

2 葉山町指定・登録文化財一覧

国指定文化財

令和8年5月1日現在

区分	種別	名 称	所在地	指定年月日	所有者・管理者
重要文化財 (美術工芸品)	絵画	紙本著色十二ヶ月風俗図	一色 2320-1	昭和 35. 6. 9	公益財団法人 JR 東海文化財団
記念物	史跡	長柄桜山古墳群	長柄字芳ヶ久保、下小路	平成 14. 12. 19	葉山町

県指定文化財

区分	種別	名 称	所在地	指定年月日	所有者・管理者
有形文化財	建造物	新善光寺四脚門	上山口 1368	昭和 39. 12. 15	新善光寺
有形文化財	建造物	新善光寺本堂 附) 厨子 1 基	上山口 1368	昭和 47. 11. 24	新善光寺
有形民俗	民 俗	翁面	堀内 1025	平成 7. 2. 14	森戸大明神

町指定文化財(有形文化財 47・無形民俗文化財 3・史跡 3・天然記念物 12)

指定号	区分	種別	名 称	所在地	指定年月日	所有者・管理者
1	有形文化財	建造物	石造五輪塔(猪俣・岡部両将の墓)	上山口 407	昭和 42. 9. 9	上山口町内会
3	有形文化財	彫 刻	阿弥陀三尊立像	上山口 1368	昭和 42. 11. 21	新善光寺
4	有形文化財	彫 刻	毘沙門天立像	堀内 805	昭和 42. 11. 21	堀内長徳寺
5	有形文化財	彫 刻	地藏菩薩立像	長柄 1439	昭和 42. 11. 21	仙光院
8	記念物	天然記念物	森戸大明神柏楨 (ビャクシン)	堀内 1025	昭和 43. 2. 29	森戸大明神
9	記念物	天然記念物	木古庭滝不動尊常緑樹林 及び境内樹林	木古庭 925	昭和 43. 2. 29	本圓寺、葉山町
10	記念物	天然記念物	木古庭永嶋家のカヤの木	木古庭 1301	昭和 43. 2. 29	葉山町
11	記念物	天然記念物	新善光寺常緑樹林	上山口 1368	昭和 43. 2. 29	新善光寺
12	記念物	天然記念物	玉蔵院のエノキ・イチョウ	一色 2154	昭和 43. 2. 29	玉蔵院
13	有形文化財	彫 刻	阿弥陀三尊立像	上山口 93	昭和 43. 8. 21	西光寺
14	有形文化財	彫 刻	地藏菩薩立像	上山口 93	昭和 43. 8. 21	西光寺
15	有形文化財	建造物	石造五輪塔 (平兼盛墓)	下山口 595	昭和 45. 5. 1	個人
16	記念物	天然記念物	シダレザクラ	上山口 1870	昭和 45. 5. 1	個人
17	記念物	天然記念物	十二天の柏楨	長柄 57	昭和 45. 5. 1	個人
19-1	有形文化財	建造物	大沢の庚申塔	木古庭 761	昭和 45. 8. 27	個人
19-2	有形文化財	建造物	寺前の庚申塔	上山口 156-6	昭和 45. 8. 27	上山口町内会
19-3	有形文化財	建造物	唐木作の庚申塔	上山口 1391	昭和 45. 8. 27	新善光寺
19-4	有形文化財	建造物	茅木山の庚申塔	下山口 991-1	昭和 45. 8. 27	個人
19-5	有形文化財	建造物	玉蔵院の庚申塔 (A)	一色 2154	昭和 45. 8. 27	玉蔵院
19-6	有形文化財	建造物	夜泣石脇の庚申塔	一色 1198	昭和 45. 8. 27	—
19-7	有形文化財	建造物	笠原商店前の庚申塔	長柄 482	昭和 45. 8. 27	個人
19-8	有形文化財	建造物	長柄上の庚申塔	長柄 1575	昭和 45. 8. 27	本立寺
19-9	有形文化財	建造物	栗坪の庚申塔	上山口 469	昭和 45. 8. 27	上山口町内会
19-10	有形文化財	建造物	正吟の庚申塔	上山口 2354	昭和 45. 8. 27	個人
19-11	有形文化財	建造物	玉蔵院の庚申塔 (B)	一色 2154	昭和 45. 8. 27	玉蔵院
19-12	有形文化財	建造物	脇町の庚申塔	堀内 324	昭和 45. 8. 27	個人

19-13	有形文化財	建造物	実教寺の庚申塔	一色 1355	昭和 45. 8. 27	実教寺
21	有形文化財	絵 画	地藏十王図	長柄 615	昭和 46. 9. 30	長運寺

指定号	区分	種別	名 称	所在地	指定年月日	所有者・管理者
23	記念物	天然記念物	イヌマキ	堀内 541	昭和 47. 3. 1	個人
24-1	有形文化財	建造物	長徳寺の庚申塔	堀内 805	昭和 49. 1. 14	長徳寺
24-2	有形文化財	建造物	高祖坂の庚申塔	木古庭 1514	昭和 49. 1. 14	個人
24-3	有形文化財	建造物	星山の庚申塔	下山口 160	昭和 49. 1. 14	個人
24-4	有形文化財	建造物	神明社の庚申塔	下山口 1505	昭和 49. 1. 14	神明社氏子会
24-5	有形文化財	建造物	森戸神社の庚申塔	堀内 1025	昭和 49. 1. 14	森戸大明神
25	有形文化財	建造物	顕彰碑（ベルツ博士・マルチーノ公使）	堀内 1025	昭和 49. 4. 15	森戸大明神
26	記念物	天然記念物	永津家のカヤの木	上山口 3208-15	昭和 49. 9. 2	個人
28	有形文化財	彫 刻	木造大黒天	木古庭 1662	昭和 50. 3. 8	本圓寺
29	有形文化財	彫 刻	阿弥陀三尊立像	堀内 284	昭和 50. 6. 30	清浄寺
30-1	有形文化財	建造物	堀内牛ヶ谷地藏菩薩塔（道標）	堀内 1808	昭和 51. 6. 17	牛ヶ谷戸町内会
30-2	有形文化財	建造物	木古庭馬頭観音菩薩座像（道標）	木古庭 604	昭和 51. 6. 17	木古庭町内会
30-3	有形文化財	建造物	長柄馬頭観音塔（道標）	長柄 1461-154	昭和 51. 6. 17	葉桜自治会
31	記念物	天然記念物	ウメの巨木	下山口 78	昭和 52. 1. 8	個人
32	有形文化財	彫 刻	木造十一面観音菩薩立像	上山口 2165	昭和 53. 8. 28	観正院（西光寺兼務）
33	有形文化財	建造物	森戸神社社殿	堀内 1025	昭和 55. 9. 18	森戸大明神
34	有形文化財	古文書	伊東家文書	木古庭 585	昭和 55. 9. 18 平成 27. 4. 1 追加	個人
35-1	有形文化財	彫 刻	室内庚申塔	一色 706	昭和 56. 12. 25	一色上の里庚申講中
35-2	有形文化財	彫 刻	室内庚申塔	下山口 387	昭和 56. 12. 25	下山口平庚申講中
35-3	有形文化財	彫 刻	室内庚申塔	上山口 1368	昭和 56. 12. 25	新善光寺
36	有形文化財	彫 刻	木造不動明王及び二童子像	長柄 615	昭和 57. 4. 24	長運寺
37	有形文化財	古文書	古絵図	木古庭 1662	昭和 57. 10. 27	本圓寺
38	記念物	史 跡	大正天皇崩御・昭和天皇皇位継承の地	一色 2123-1	昭和 61. 4. 29	財務省（旧大蔵省）
39	記念物	史 跡	「古将の墓」並びに「副葬品」	一色 1355	昭和 62. 10. 29	実教寺
40	記念物	天然記念物	モミジ	上山口 768	昭和 62. 10. 29	大昌寺
41	有形文化財	彫 刻	阿弥陀如来坐像	堀内 568	昭和 62. 10. 29	相福寺
42	有形文化財	彫 刻	阿弥陀如来立像	堀内 568	昭和 62. 10. 29	相福寺
43	記念物	史 跡	旗立山	堀内 41-1	平成 4. 3. 27	葉山町
44	記念物	天然記念物	葉山芝崎海岸及び周辺水域	一色 2503 周辺	平成 7. 4. 1	葉山町・国交省・農水省
45-1	有形文化財	彫 刻	木造大日如来坐像	一色 2154	平成 8. 4. 1	玉蔵院
45-2	有形文化財	彫 刻	木造不動明王立像	一色 2154	平成 8. 4. 1	玉蔵院
45-3	有形文化財	彫 刻	木造虚空蔵菩薩坐像	一色 2154	平成 8. 4. 1	玉蔵院
46	有形文化財	建造物	一色前田の庚申塔	一色 1028	平成 8. 4. 1	個人
47	無形民俗	民 俗	行合祭	一色 2164	平成 8. 4. 1	森山社伝承文化推進保存会

48	無形民俗	民 俗	潮神楽	堀内 50-20	平成 17. 4. 1	湘南漁業協同組合 葉山支所
49	無形民俗	民 俗	世計り神事	一色 2164、 一色 324-1	平成 19. 4. 1	森山社伝承文化推進 保存会
50	有形文化財	歴史資料	葉山小学校の青い目の人形メリー	堀内 2050-1	平成 28. 8. 1	葉山小学校



国登録有形文化財 山口蓬春記念館画室



国登録有形文化財 山口蓬春記念館 画室室内



国登録有形文化財 旧足立家別邸主屋

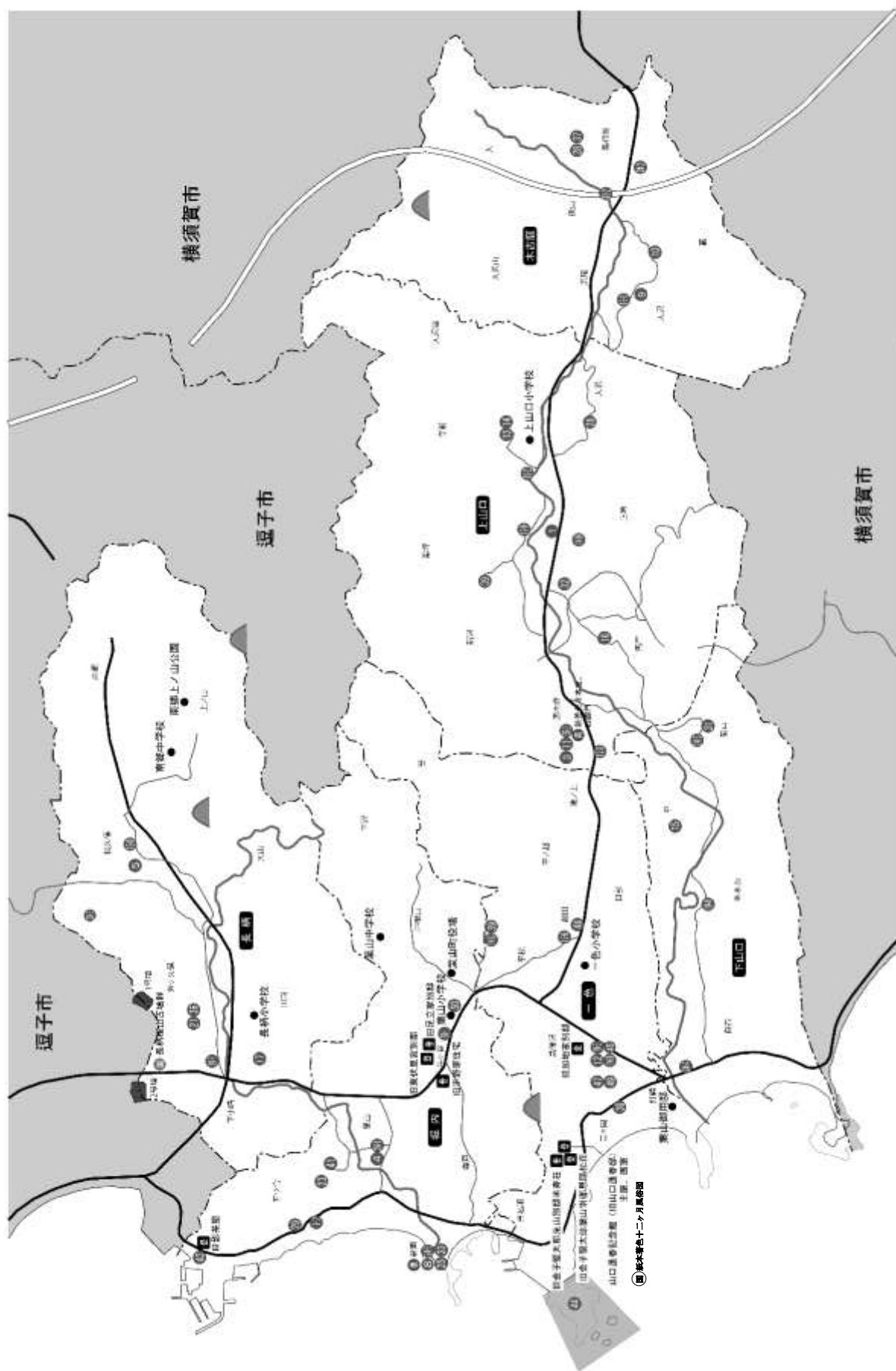


国登録有形文化財 旧平野家住宅主屋

国登録有形文化財

登録号	名 称	所在地	登録年月日	所有者・管理者
14-0169	日影茶屋本店客室棟 一棟	堀内 16	平成 23. 1. 26	日影茶屋
14-0170	日影茶屋本店石蔵 一棟	堀内 16	平成 23. 1. 26	日影茶屋
14-0228	イエズス孝女会修道院旧館（旧東伏見宮葉山別邸）	堀内 1968	平成 29. 5. 2	宗教法人イエズス 孝女会
14-0253	旧加地邸	一色 1706	平成 29. 10. 27	株式会社ヨネヤマ
14-0289	旧金子堅太郎葉山別邸恩賜松荘	一色 2311-1	令和 3. 2. 4	個人
14-0290	旧金子堅太郎葉山別邸米寿荘	一色 2311-6	令和 3. 2. 4	有限会社上田義彦 写真事務所
14-0320	旧足立家別邸主屋	堀内 2019	令和 4. 10. 31	個人
14-0324	山口蓬春記念館（旧山口蓬春邸）主屋	一色 2320-1	令和 5. 2. 27	公益財団法人 J R 東海文化財団
14-0325	山口蓬春記念館（旧山口蓬春邸）画室	一色 2320-1	令和 5. 2. 27	公益財団法人 J R 東海文化財団
14-0342	旧平野家住宅主屋	堀内 1834	令和 6. 3. 6	個人

葉山町指定・登録文化財マップ



VI 教育施設

1 保育園・教育総合センター

所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内 2050 番地の 9

電 話 教育委員会 046 (877) 5100～5102

F A X 046 (876) 1861

ことば・きこえの教室 046 (875) 8991

たんぽぽ教室 046 (876) 2400

葉山保育園 046 (875) 6246

ホームページ <https://www.town.hayama.lg.jp/soshiki/kyouikusoumu/1643.html>

保育園・教育総合センターは、「教育と福祉の連携」した全く新しいタイプの施設として、平成 18 年 10 月に完成しました。

センターには、教育委員会事務局、教育研究所、ことば・きこえの教室が一元化されました。

また、福祉機能として、保育園とたんぽぽ教室があります。たんぽぽ教室では、発達につまずきのある就学前児童を対象に療育、指導を行っており、子どもたちが小学校へスムーズに移行できるよう、様々な支援をしています。

この複合施設により、教育・福祉の壁を越え、家庭、幼児、学校そして生涯学習への支援を円滑に進めることが可能となり、多種多様化する学習ニーズへの対応を図っています。

(1) ことば・きこえの教室（通級指導教室）

- ・発音に誤りがある（はっきりしない）
- ・なめらかに話せない
- ・ことばの数が少ない
- ・耳のきこえに不安がある
- ・コミュニケーションがうまくとれない

といった子どもたちの教育的ニーズに応じた指導、そしてソーシャルスキルを学ぶ場として個別指導やグループ指導を行っています。関係機関（学校や教育、福祉、医療等）と連携を密にして、豊かな人間関係を作り、自己肯定感を育てながら、生き生きと家庭生活や学校生活を送ることができるように、子どもたちや保護者を支援しています。

(2) 教育研究所

葉山町における学校教育活動の質的向上を目指し、教員の指導力向上及び多様な教育課題に対応する研究・研修の拠点として、次の事業を中心に運営しています。

- ・教育に関する専門的、技術的事項の調査・研究事業
- ・支援教育・教育相談関連研修等
- ・教育に関する相談事業
- ・その他、学校教育活動支援事業等

① 研修事業

令和8年度 教育研究所教職専門講座 (令和8年4月1日現在)

No	講座名	日時	講師	講師所属	研修内容
1	情報教育研修講座Ⅰ	7月24日	為田 裕行	教育ICTリサーチ 主宰	ICTを効果的に活用した授業づくり・先進的な教育ICTツールの体験
2	情報教育研修講座Ⅱ	8月27日	武田 雄真	株式会社SPLYZA	動画分析ツールを効果的に活用した授業づくりと、実際の操作方法
3	道徳教育研修講座	7月28日	加藤 宜行	筑波大学附属小学校教諭	特別の教科道徳の授業づくり
4	支援教育研修講座	7月27日	前川 圭一郎	白梅学園大学子ども学部非常勤講師	多様な教育的ニーズに対応するため、多層型支援(MTSS)の考え方を理解し、学校全体での支援の在り方について学ぶ
5	外国語教育研修講座	8月6日	太田 洋	東京家政大学教授	児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力を育成するため、言語活動の質を高める指導法を実践的に学ぶ
6	学校運営研修講座	8月6日	木下 佳郁	株式会社MICCE 代表取締役	学校運営における総括教諭の役割
7	中学校区教育相談研修講座 (葉山中学校区)	9月7日	芳川 玲子	星槎大学大学院教育実践研究科教授	自校事例による事例検討と教育相談に関わる講演他
8	学校マネジメント研修講座	未定	未定	未定	学校組織マネジメントの考え方やリーダーとしての役割、学校経営力
9	中学校区教育相談研修講座 (南郷中学校区)	1月18日	芳川 玲子	星槎大学大学院教育実践研究科教授	自校事例による事例検討と教育相談に関わる講演他

② 教育相談事業

研究所相談員、教育支援教室相談員による教育相談

ア 電話、面接などによる相談

イ 学校訪問による児童・生徒の観察及び相談

ウ 子ども育成課・医療機関・児童相談所等との連携

令和 7 年度教育相談実績

相 談 件 数	教育研究所相談員 (教育支援教室での相談を含む)	他機関との連携
来 所 相 談	77	(内数) 0
電 話 相 談	19	(内数) 0
訪問相談・巡回指導	166	(内数) 0

主訴別	いじめ	不登校	暴力 行為	学習 進路	家庭 環境	友人 異性	非行	身体 健康	発達	他	計
件 数	1	95	5	11	47	1	2	51	16	33	262

対象者内訳	幼児	小学生	中学生	高校生	その他	計
対象者延べ人数	15	139	103	0	5	262
対象者実人数	12	55	40	0	3	110

エ スクールカウンセラー等連絡協議会・教育相談コーディネーター会議への協力

教育相談に関する情報共有

効果的・効率的な教育相談体制及び方法についての協議

③ 教育支援教室(ヤシの実)運営事業

以下を目的とする相談・不登校支援

ア 集団生活への適応

イ 情緒の安定

ウ 基礎学力の補充

エ 基本的生活習慣の改善

④ 学校教育支援事業

ア 授業改善に係る指導・助言等

イ 不登校対応支援

ウ 学校運営に係る相談

⑤ 学校教育課主管事業連携

ア 初任者研修

イ 経験者研修

ウ 臨時的任用職員研修

エ 学びづくり研究推進事業

オ 小中一貫教育推進事業

カ 幼・保・小連携事業

キ 特別支援教育・就学支援関連事業

2 図書館

所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内 1874 番地

電 話 046 (875) 0088

F A X 046 (876) 1864

ホームページ <https://www.town.hayama.lg.jp/soshiki/tosho/index.html>

(1) 沿革

本町の図書館は、昭和 56 年 4 月、情報化・技術革新が叫ばれた時に、社会教育施設として整備され、近年では生涯学習の場、情報集積の拠点として活用されています。

現在は、5 万冊の開架図書、11 万冊の閉架図書により約 16 万冊を所蔵し、電算システムの導入による業務を行っています。貸出冊数は年間約 17 万 5 千冊、住民 1 人当たり年平均 5.59 冊となっています。

また、より住民と密着した図書館となるよう地域資料の整備や幼児を対象にした「ブックスタート」、「おはなし会」の開催、「読書ノート」、「ブックリスト」の作成・配布やエントランスでの「展示」等の各種事業を展開しています。

あわせて、蔵書検索システム（OPAC）の導入により、館内の端末に加え、インターネットで所蔵図書の検索、資料の利用状況や予約状況の確認ができます。

さらに、利用者の要望に迅速に応えるため、日頃の情報の集積だけでなく、「神奈川県内公共図書館等の相互貸借ガイドライン」に基づき、神奈川県図書館情報ネットワークシステム（KL-NET）を利用し、県内公立図書館等の図書資料の相互貸借を実施し、未所蔵本の提供を行っています。



おはなしコーナー

(2) 事業内容

- | | |
|----------------------|----------------|
| ① 図書資料及び視聴覚資料の収集、提供 | ② 予約・リクエストサービス |
| ③ 読書相談 | ④ コピーサービス |
| ⑤ レファレンスサービス | ⑥ ブックスタート |
| ⑦ 団体貸出 | ⑧ おはなし会 |
| ⑨ 読書ノート、ブックリストの作成・配布 | ⑩ 資料展示（展示コーナー） |
| ⑪ 雑誌スポンサー制度 | |
| ⑫ 蔵書検索システム（OPAC） | |

<https://www.lk.licsre-saas.jp/hayama/webopac/index.do>

⑬ 皇室コーナー

葉山御用邸は、明治に造営されて以来、昭和天皇の生物学のご研究の場所でもあったので、生物学の御著書等をはじめ、皇室関連資料を収蔵しています。

⑭ 堀口大學文庫

我が国の近代文学史上に大きな功績を残した詩人であり、フランス文学者である名誉町民の故堀口大學氏の文庫を平成 18 年 11 月に図書館 2 階に開設し常時展示をしています。

(3) 資料

蔵書冊数及び視聴覚資料

令和 8 年 4 月 1 日現在

内 容		冊 数	内 容	本 数
図 書	一般図書	116,479	カセットテープ	30
	児童図書	48,247	ビデオテープ	28
	合計	164,726	コンパクトディスク	2,231
新 聞		9 紙	9 紙	274
雑 誌		106 誌		

※新聞、雑誌は寄贈を含む

分類別冊数

総 記	哲 学	歴 史	社会科学	自然科学	技 術
5,063	3,634	16,041	16,965	9,423	8,492
産 業	芸 術	言 語	文 学	絵本紙芝居	計
3,290	13,975	2,216	64,101	21,526	164,726

※予約リクエスト件数 20,925 件 (令和 7 年度)

日本 10 進分類法による

3 葉山しおさい公園

所在地 神奈川県三浦郡葉山町一色 2123 番地の 1

電 話 046 (876) 1140

F A X 046 (876) 1819

ホームページ https://www.town.hayama.lg.jp/facility/map_2/11925.html

(1) 沿革

本公園は、大正 8 年 6 月に葉山御用邸の付属邸として竣工し、昭和 40 年代まで天皇家の御別荘とされていたところです。

ここはまた、大正天皇が崩御され昭和天皇が第 124 代の皇位を継承された昭和発祥の地でもあります。

このような日本の歴史上重要なところでもあるため葉山町の史跡に指定されており、当時の大蔵省と宮内庁のご厚意により葉山町に無償貸与され、昭和 62 年 6 月 3 日に町営の葉山しおさい公園として開園し今日に至っています。



日本庭園

(2) 案内

- ① 利用時間 8 時 30 分～17 時
(入園 16 時 30 分まで)
- ② 休園日 月曜日、国民の祝日の翌日、
年末年始 (12 月 28 日～1 月 3 日)
その他臨時休園日あり
- ③ 入園料 一般 300 円 小中学生 150 円



一景庵茶室

(3) 施設の概要

- ① 滝と池を巡らした日本庭園
- ② 海に面した黒松林の散策路
- ③ 一景庵、潮見亭 (茶室)
- ④ しおさい博物館
- ⑤ 駐車場 20 台、駐輪場

年度別来園者数の推移

年度	来園者人数
令和 5	26,040
令和 6	23,185
令和 7	25,687

4 葉山しおさい博物館

所在地 神奈川県三浦郡葉山町一色 2123 番地の 1 (葉山しおさい公園内)

電 話 046 (876) 1155

F A X 046 (876) 1819

ホームページ <https://www.town.hayama.lg.jp/soshiki/shougaigakushuu/2/1701.html>

(1) 沿革

明治 27 年 (1894 年) 葉山御用邸が造営され、以来皇室との関係を基盤とした葉山町観光館を開館しました。館内には、昭和天皇の御下賜標本を中心とした、葉山周辺の生物や民俗資料などを展示し、その後昭和 47 年 (1972 年) 7 月教育委員会に所管が移り、葉山町立観光館の名称は、葉山町立郷土館となりました。

昭和 59 年 (1984 年) 6 月旧付属邸が当時の大蔵省と宮内庁のご厚意によって葉山町に無償貸与されたことを機に昭和 62 年 (1987 年) 6 月 4 日葉山しおさい公園を建設し、その中に葉山しおさい博物館が開館となりました。

(2) 特徴

しおさい公園内にある当博物館は、松林や多くの緑に囲まれ、建物は周囲の景観に合わせた平屋造りとなっています。玄関の「御車寄せ」は、旧付属邸で使われたものです。

展示内容は、葉山を中心とした「相模湾の海の生物」をテーマとし、海洋生物標本の全ては地元から集められたものです。中でも深海生物や昭和天皇がご採集された海洋生物の展示は大きな特徴となっています。



玄関 御車寄せ

(3) 活動内容

相模湾の海洋生物に関する資料を収集し、それらの保管、展示及び調査研究とともに、相模湾の自然を生かした教育普及活動を行っています。

(4) 案内

- ① 開館時間 8 時 30 分～17 時
- ② 休館日 月曜日、国民の祝日の翌日、年末年始 (12 月 28 日～1 月 3 日)
- ③ 入館料 無料 (しおさい公園の入園料に含まれます)

(5) 施設概要

- ① 建物 鉄筋コンクリート造 地下 1 階、1 階 延床面積 844.15 m²
 - ・ 1 階 展示室、学習室、事務室、研究室、多目的トイレ
 - ・ 地下 1 階 展示室、準備室、収蔵庫

(6) 展示概要



昭和天皇御下賜標本

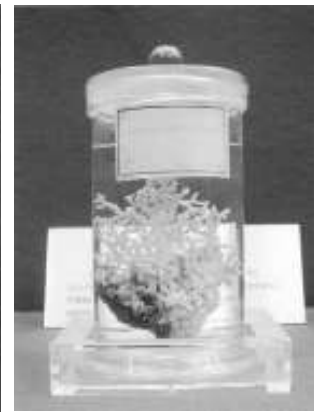
葉山町に御下賜された 28 点の海洋生物標本で、昭和天皇がライフワークとして調査研究された刺胞動物のヒドロ虫類が大半を占めています。

御下賜標本ベンテンウニ 水深 100～180m 位の砂地に生息し棘は長く美しい模様をもつ。

御下賜標本イボエノシマサンゴ 水深 30～80m 位の岩礁に生息。



ベンテンウニ



イボエノシマサンゴ

昭和 25 年 7 月、日本ヨット協会（現日本セーリング連盟）が当時、皇太子殿下でいらした上皇陛下に献上した「オリンピック・ヨーレ」という級式のヨットです。1 階展示室に展示しています。



御下賜ヨット

5 南郷上ノ山公園

所在地 神奈川県三浦郡葉山町長柄 1888 番地の 1

電 話 046 (876) 1100

F A X 046 (876) 1866

ホームページ <https://www.town.hayama.lg.jp/soshiki/shougaigakushuu/2/1/1540.html>

(1) 沿革

南郷上ノ山公園は、四方を山に囲まれた緑豊かな公園です。公園内には芝生の丘と周回する散策路があり、そこから山に続く道を登れば、尾根づたいに「果実と野鳥の森」と呼ばれる遊歩道があり、公園を見下ろしています。公園内は「野球場」「テニスコート」250mトラックがとれる

「多目的グラウンド」があります。

(2) 利用時間（1月～5月、9月～12月）

8時30分～16時30分

（6月～8月）8時～18時

(3) 施設概要

公園面積 28.8ha

テニスコート 人工芝 6面

多目的グラウンド 1周 250m トラック

野球場 両翼 90m センター102m

ドッグヤード 大型犬 740 m² 小型犬 108 m²

インクルーシブ広場、木製遊具

果実と野鳥の森

駐車場 普通車 184 台、障がい者用 4 台

大型車 3 台

園路、管理事務所、トイレ

園路 管理事務所



案 内 図



(4) スポーツ施設利用状況

年度	テニスコート		野球場		多目的グラウンド		ドッグヤード	
	使用回数	人数	使用回数	人数	使用回数	人数	登録者数	登録頭数
令和 5	9,202	42,986	150	6,015	148	8,474	577	269
令和 6	9,328	41,184	165	6,392	159	10,259	797	363
令和 7	9,210	40,313	174	5,250	160	11,371	1,156	544

Ⅶ 広報

広報・刊行物

(1) 教育委員会だより「いそぎく」

「いそぎく」は学校教育、生涯教育活動など教育委員会の各種事業を町民にお知らせするもので、広報はやま内に掲載されています。葉山町には貴重な自然海岸が残されており、きく科の多年草であるいそぎくが長者ヶ崎の崖などにしっかり根づいています。潮風に耐え、秋には黄色の花をつけ一帯を鮮やかに彩るこの花にちなんで名付けられました。

(2) 博物館刊行物

①「潮騒だより」

葉山を中心とした相模湾の自然に関する調査結果や情報などを掲載した、いわば博物館の研究報告的役割をしている印刷物です。(B5版16ページ、各公共機関に配布)



②「潮騒ガイドブック」

相模湾の海洋生物を紹介し、海の自然観察に利用できる内容を掲載したガイドブックです。

No.	「潮騒ガイドブック」タイトル	発行年
1	三浦半島のタカラガイ(1)	1995
2	三浦半島のタカラガイ(2)	1996
3	三浦半島 海岸の打ち上げ物1	1997
4	三浦半島 海岸の打ち上げ物2	1999
5	三浦半島 磯の生物	2000
6	三浦半島 干潟・砂浜の生物	2002
7	三浦半島 ビーチコーミングガイド	2003
8	葉山・芝崎ナチュラルリザーブ 海洋生物図鑑(1)	2004
9	葉山・芝崎ナチュラルリザーブ 海洋生物図鑑(2)	2005
10	葉山・芝崎ナチュラルリザーブ 海洋生物図鑑(3)	2006
11	相模湾の深海生物	2007
12	葉山・芝崎ナチュラルリザーブ 海洋生物図鑑(4)	2008
13	三浦半島 藻場の生物	2009
14	相模湾の貝類	2010
15	相模湾産ウミウシ類	2017
16	海の寄生生物	2018
17	海の有毒生物	2019
18	海の外来生物	2020
19	軟体動物	2021
20	相模湾のホンダワラ類	2022
21	三浦半島の関東大震災	2023
22	三浦半島の砂浜	2024
23	相模湾の褐藻	2025

令和 8 年度教育要覧

令和 8 年 10 月発行

葉山町教育委員会

〒240-0112 葉山町堀内 2050 番地の 9

電話 046(876)1111

FAX 046(876)1861

葉山町ホームページ

<https://www.town.hayama.lg.jp/>